

【基本方針1】男女平等・共同参画社会の実現に向けた意識づくり啓発の推進

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)	
1	○	職員研修事業	総務部職員課	職員研修事業において、女性の参画意識を醸成し、女性の地位向上や能力強化につなげる。	○各種職員研修の開催 ○研修実施数:22回/年 ○参加者延べ人数:483人(うち女性123人)		○各種職員研修の開催 ○研修実施数:20回/年 ○参加者延べ人数:449人(うち女性109人)		○各種職員研修の開催 ○研修実施数:21回/年 ○参加者延べ人数:470人(うち女性138人)		○各種職員研修の開催 ○研修実施数:20回/年 ○参加者延べ人数:461人(うち女性129人)	
					決算額(円)	6,829,544	決算額(円)	6,856,469	決算額(円)	6,446,510	決算額(円)	7,855,175
2	○	男女共同参画啓発事業	生活環境部市民生活課	男女共同参画に関する情報を広報やホームページで紹介するとともにパンフレット等を各施設に配置し、広く市民に情報を提供する。	○広報えべつに関連記事を掲載。 ・掲載回数5回(4、6、7、11、12月号) ○内閣府等の関係機関から送付される啓発パンフ等を関係団体に周知するとともに各施設に配置した。		○広報えべつに関連記事を掲載した。 ・掲載回数4回(6、7、10、11月号) ○内閣府等の関係機関から送付される啓発パンフ等を関係団体に周知するとともに各施設に配置した。		○広報えべつに関連記事を掲載した。 ・掲載回数3回(6、10、11月号) ○内閣府等の関係機関から送付される啓発パンフレット等を関係団体に周知するとともに各施設に配置した。		○広報えべつに関連記事を掲載した。 ・掲載回数5回(6、7、11、2、3月号) ○内閣府等の関係機関から送付される啓発パンフレット等を関係団体に周知するとともに各施設に配置した。 ○男女共同参画について啓発するためのリーフレットを作成し、男女共同参画セミナーで配付したり、各公共施設等に配置した。	
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	81,000
3	○	出前講座開催事業	生活環境部市民生活課	希望する団体やグループの要請により、市職員を講師として派遣し、本市の条例や基本計画など男女共同参画の啓発と意識の高揚を図る。	○札幌学院大学 講座(江別市における男女共同参画について) ・実施日:12/3		○出前講座の開催回数 1回「男女共同参画について」 ・平成28年2月24日実施 ・32人参加		○出前講座開催回数 0回(出前講座の1メニューとして案内したが、申し込みがなかった。)		○出前講座の開催回数 1回(男女共同参画について) ・平成30年1月19日(金)実施 ・25人参加	
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—
4	○	協働を知ってもらう啓発事業	生活環境部市民生活課	講座やイベント等を開催し、将来の市民協働の担い手である小学生に対して、自治基本条例における市民自治・協働の理念の啓発を図る。	○早朝ミニ講座 ・実施日:10/21～11/14 ・対象:小学4年生・6年生等(2,185人) ・場所:小学校の各教室 ・その他:協働を分かりやすく解説したリーフレット・パンフレットを配布 ○江別市青少年少女発明クラブ出前講座 ・実施日:12/13 ・対象:小学生(17人) ・場所:江別市青少年少女発明クラブ教室 ○啓発イベント(まちづくりシミュレーション) ・実施日:1/24 ・対象:小学生等(117人) ・場所:イオンタウン江別		○早朝ミニ講座 ・実施日:10/23～11/20 ・対象:小学4年生・6年生等(1,960名) ・場所:小学校の各教室 ※開催時は協働を分かりやすく説明したリーフレット(クリアファイル)と自治基本条例パンフレットの配布を行っている。		○早朝ミニ講座 ・実施日:10/19～11/16 ・対象:小学4年生(1,000人) ・場所:小学校の各教室 ※開催時は協働を分かりやすく説明したリーフレット(クリアファイル)と自治基本条例パンフレットの配布を行った。 ○協働を知ってもらう啓発用パンフレットの配布 ・配布時期:10月 ・対象:中学2年生(1,059人)		○早朝ミニ講座【小学生向け】 ・実施日:10/11～11/9 ・対象:小学4年生 ・場所:小学校の各教室 ※開催時は協働を分かりやすく説明したリーフレット(クリアファイル)と自治基本条例パンフレットの配布を行った。 【中学生向け】 ・実施日:11/17～11/29 ・対象:中学2年生 ・場所:中学校の各教室 ※開催時は協働を分かりやすく説明したパンフレットの配布を行った。	
					決算額(円)	1,148,800	決算額(円)	447,700	決算額(円)	1,017,814	決算額(円)	713,187
5	○	男女共同参画セミナー等開催事業	生活環境部市民生活課	市民を対象とした講演会及びセミナーの開催により、男女共同参画に関する意識啓発を行い、男女共同参画社会についての理解を深める。	・演題:男性介護者の実情とその課題について ・開催日:12/19 ・講師:小番 一弘氏(北海道男性介護者と支援者のつどい事務局長) ・参加者:67人(女性26人、男性41人)		・講師:渡辺 陽子氏(フリーアナウンサー) ・開催日:10/24(土) ・講演会演題:「家族はチーム!我が家のルールに男だから女だから、あり得ない?!」 ・参加者:92人(女性50人、男性42人) ・意見交換会演題:「男だから」「女だから」お宅の場合は? ・参加者:27人(女性15人、男性12人)		・講師:安藤哲也氏 ・開催日:11/5(土) ・講演会演題:「めざせ!子育ての達人イクメン・イクジイが社会を変える」 ・参加者:81人(女性32人、男性49人) ・ワークショップ演題:「私のワークライフバランス」 ・参加者:16人(女性10人、男性6人)		・講師:横山光氏 ・開催日:11/11(土) ・講演会演題:「江別の自然災害と今日からできる災害への備え」 ・参加者:103人(男性64人、女性39人) ・ワークショップ演題:「考えよう!!あなたの家庭の備えは大丈夫?」 ・参加者:25人(男性7人、女性18人)	
					決算額(円)	45,846	決算額(円)	322,742	決算額(円)	325,198	決算額(円)	50,363

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)			
6	○	男女共同参画関係団体との連携・支援	生活環境部 市民生活課	男女共同参画に関する活動をしている団体を支援し、指導者の育成と地域に向けた情報発信や団体相互の交流の促進を行う。 〔対象団体〕 江別市男女共同参画推進連絡協議会(会員:18団体、47個人)	○「日本女性会議2014札幌」への市民研修員派遣 ・開催地:札幌市 ・開催日程:10/17・18 ・派遣人数:12名 ・派遣報告:江別市男女共同参画推進連絡協議会報告会で発表(HP掲載) ○関係団体との連携・支援 ・同協議会との連携による講演会等の開催(2回) ・同協議会の活性化に向けた人的支援		○「日本女性会議2015倉敷」への市民研修員派遣 ・開催地:岡山県倉敷市 ・開催日程:10/9~11 ・派遣人数:2名 ・派遣報告:11/18「江別市男女共同参画推進連絡協議会研修会」で発表。(市HPへ掲載) ○関係団体との連携・支援 ・同協議会との連携による講演会等の開催。(2回) ・同協議会の活性化に向けた人的支援。		○「日本女性会議2016秋田」への市民研修員派遣 ・開催地:秋田県秋田市 ・開催日程:10/28~10/30 ・派遣人数:2名 ・派遣報告:「江別市男女共同参画推進連絡協議会報告会」(11/30)で発表。(市HPへ掲載) ○関係団体との連携・支援 ・同協議会との連携による講演会等の開催。(2回) ・同協議会の活性化に向けた人的支援。		○「日本女性会議2017とまこまい」への市民研修員派遣 ・開催地:苫小牧市 ・開催日程:10/13~10/14 ・派遣人数:8名 ・派遣報告:「江別市男女共同参画推進連絡協議会報告会」(11/29)で発表。(市HPへ掲載) ○関係団体との連携・支援 ・同協議会との連携による講演会等の開催。(2回) ・同協議会の活性化に向けた人的支援。			
					決算額(円)	69,620	決算額(円)	211,664	決算額(円)	126,424	決算額(円)	189,324		
7	○	自治会活動等支援事業	生活環境部 市民生活課	自治会活動における女性の活躍を支援することを目的とする。					○女性意見交換会 ・内容:自治会活動において、女性の力を発揮できる環境とするためには何が必要か考え、課題の解決につながる取り組みについて意見交換を行った。平成29年度はこれに加えて、女性役員同士の意見交換の場を設け、女性役員の活動を支援するほか、自治会の女性役員と自連協役員との協議・意見交換を行い、具体的な支援策を検討した。 ・参加者:女性意見交換会10名(自治会関係6名、江別市女性団体協議会2名、NPO法人・市民活動団体2人) ・実施回数:3回開催(第1回 7/28、第2回 8/8、第3回 H29 1/25) ○女性対象セミナー ・内容:自治会における女性の活動支援するため、女性自治会長からの体験談を聞いたほか、参加者同士の自治会活動に関する情報交換を行った。 ・講師:札幌学院大学 新田准教授 ・テーマ:みんなで進めるこれからの地域活動 ・参加者:35人				○女性意見交換会 ・内容:自治会活動において、女性の力を発揮できる環境とするためには何が必要か考え、課題の解決につながる取り組みについて意見交換を行った。平成29年度はこれに加えて、女性役員同士の意見交換の場を設け、女性役員の活動を支援するほか、自治会の女性役員と自連協役員との協議・意見交換を行い、具体的な支援策を検討した。 ・参加者:女性意見交換会10名(自治会関係6名、江別市女性団体協議会2名、NPO法人・市民活動団体2名)、自治会女性役員5名、自治会連絡協議会会長・副会長7名 ・実施回数:年度内に4回開催 第1回 8/8 第2回 9/4(女性役員同士の協議・意見交換) 第3回 9/22(自連協役員との協議・意見交換) 第4回 11/6	
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)	142,225	決算額(円)	64,218		
8	○	男女共同参画週間に関する図書等の特集事業	教育部情報 図書館	男女共同参画週間に関する図書等の特集事業合わせて男女共同参画社会に関する特集本のコーナーを臨時設置し、啓発活動を行う。 ※男女共同参画週間6/23~29	○男女共同参画特集コーナーの設置 ・設置回数:1回 ・設置期間:6/23~29		○男女共同参画特集コーナーの設置 ・設置回数:1回 ・設置期間:6/23~29		○男女共同参画特集コーナーの設置 ・設置回数:1回 ・設置期間:6/23~29		○男女共同参画特集コーナーの設置 ・設置回数:1回 ・設置期間:6/23~29			
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—		
9	○	高齢者教育事業(蒼樹大学)	教育部生涯 学習課	高齢者一人ひとりが、自立と連帯の精神に満ちた豊かで活力のある生活の維持を図るとともに、異世代間の交流、仲間づくりを促進し、習得した知識や技術・経験を活かした地域社会への参画を促進する。	4月に学生を募集(就学年限は2年間)。5~3月に毎月1~2回の学習会を開催。午前は現代的課題や郷土史等をテーマに受講生全員で学ぶ教養講座、午後は各自選択制による専攻講座(6講座)を開設。その他研修旅行、新年会等を実施。年度末に記録文集を発行した。 ○講座等開催数:61回(延べ) ○学生数:172人		4月に学生を募集(就学年限は2年間)。5~3月に毎月1~2回の学習会を開催。午前は現代的課題や郷土史等をテーマに受講生全員で学ぶ教養講座、午後は各自選択制による専攻講座(6講座)を開設。その他研修旅行、新年会等を実施。年度末に記録文集を発行した。 ○講座等開催数:61回(延べ) ○学生数:144人		4月に学生を募集(就学年限は2年間)。5~3月に毎月1~2回の学習会を開催。午前は現代的課題や郷土史等をテーマに受講生全員で学ぶ教養講座、午後は各自選択制による専攻講座(6講座)を開設。その他研修旅行、新年会等を実施。年度末に記録文集を発行した。 ○講座等開催のべ数:61回 ○学生数:125人		4月に学生を募集(就学年限は2年間)。5~3月に毎月1~2回の学習会を開催。午前は現代的課題や郷土史等をテーマに受講生全員で学ぶ教養講座、午後は各自選択制による専攻講座(6講座)を開設。その他研修旅行、新年会等を実施。年度末に記録文集を発行した。 ○講座等開催のべ数:62回 ○学生数:134人			
					決算額(円)	608,154	決算額(円)	638,000	決算額(円)	597,000	決算額(円)	637,695		

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)	
10	○	江別市女性団体協議会補助金	教育部生涯学習課	男女共同参画の推進や地域コミュニティ醸成等の活動を行う女性団体協議会への支援を行う。	江別市女性大会や研修会など、女性団体活動を行う江別市女性団体協議会へ補助金を交付した。 ※江別市女性団体協議会 ・加盟団体:19団体 ・事業参加者数:1,140人		江別市女性大会や研修会など、女性団体活動を行う江別市女性団体協議会へ補助金を交付した。 ※江別市女性団体協議会(H27年度) ・加盟団体:17団体 ・事業参加者数:1241人		江別市女性大会や研修会など、女性団体活動を行う江別市女性団体協議会へ補助金を交付した。 ※江別市女性団体協議会(H28年度) ・加盟団体:18団体 ・事業参加者数:1,195人		江別市女性大会や研修会など、女性団体活動を行う江別市女性団体協議会へ補助金を交付した。 ※江別市女性団体協議会(H29年度) ・加盟団体:18団体 ・事業参加者数:1255人	
					決算額(円)	400,000	決算額(円)	400,000	決算額(円)	400,000	決算額(円)	400,000
11	○	小中学生国内交流研修事業	教育部生涯学習課	小中学生を対象とした友好都市土佐市との相互訪問による交流事業。体験入学や、南国と北国の特色ある体験学習で、次代を担う青少年の視野を広め、研修地の歴史・文化・産業等に触れ、郷土を愛しむ心を育み、友情を深める。	○土佐市への訪問団派遣 派遣期間:10/14~17 派遣:小学生7人、中学生3人 引率:教諭2人、職員1人 (計13人:女性8人、男性5人) 内容:高岡第二小、蓮池小、土佐南中、高岡中、戸波中の学校体験やホームステイ体験、施設見学。 ○土佐市の訪問団受入 受入期間:1/20~23 受入:小学生9人、中学生3人 引率:教諭3人、職員1人 (計16人:女性7人、男性9人) 内容:江別小、豊幌小、江別太小、いずみ野小、第一中、第三中、大麻東中の学校体験やホームステイ体験ほか施設見学。		○土佐市への訪問団派遣 派遣期間:10/13~16 派遣:小学生7人、中学生3人 引率:教諭2人、職員1人 (計13人:女性6人、男性7人) 内容:波介小、北原小、戸波小、土佐南中、高岡中、戸波中の学校体験やホームステイ体験、施設見学。 ○土佐市の訪問団受入 受入期間:1/19~1/22 受入:小学生9人、中学生3人 引率:教諭3人、職員1人 (計16人:女性9人、男性7人) 内容:対雁小、東野幌小、野幌若葉小、上江別小、野幌中、江陽中、中央中の学校体験やホームステイ体験ほか施設見学。		○土佐市への訪問団派遣 派遣期間:10/11~10/14 派遣:小学生7人、中学生3人 引率:教諭2人、職員1人 (計13人:女性6人、男性7人) 内容:宇佐小、新居小、高石小、土佐南中、高岡中、戸波中の学校体験やホームステイ体験、施設見学。 ○土佐市の訪問団受入 受入期間:1/17~1/20 受入:小学生9人、中学生2人 引率:教諭3人、職員1人 (計15人:女性7人、男性8人) 内容:大麻西小、大麻泉小、文京台小、いずみ野小、第二中、大麻中の学校体験やホームステイ体験ほか施設見学。		○土佐市への訪問団派遣 派遣期間:10/10~10/13 派遣:小学生9人、中学生3人 引率:教諭3人、職員1人 (計16人:女性7人、男性9人) 内容:高岡第一小、土佐南中、高岡中、戸波中の学校体験やホームステイ体験、施設見学。 ○土佐市の訪問団受入 受入期間:1/17~1/20 受入:小学生9人、中学生3人 引率:教諭3人、職員1人 (計16人:女性9人、男性7人) 内容:江別第二小、江別太小、対雁小、上江別小、江別第一中、江別第三中、江陽中の学校体験やホームステイ体験ほか施設見学。	
					決算額(円)	1,384,700	決算額(円)	1,422,580	決算額(円)	1,428,140	決算額(円)	1,565,880
12	○	中学生国際交流事業	教育部生涯学習課	中学生を対象とした姉妹都市米国グレシャム市との相互訪問による交流事業。異なった言語や文化、生活習慣を体験し、グローバルな視点での相互理解を深めるとともに郷土を愛する心を育む。	○グレシャム市への訪問団 派遣期間:12/4~15 派遣:中学生6人 引率:教諭1人、職員1人 (計8人:女性5人、男性3人) 内容:ゴードンラッセル校での体験学習、ホームステイ体験、市内見学等 ○グレシャム市からの訪問 受入期間:2/6~16 受入:中学生6人 引率:教諭1人 (計7人:女性6人、男性1人) 内容:第二中、江陽中での体験学習、ホームステイ体験、市内等施設見学		○グレシャム市への訪問団 派遣期間:12/3~12/14 派遣:中学生6人 引率:教諭1人、職員1人 (計8人:女性6人、男性2人) 内容:ゴードンラッセル校での体験学習、ホームステイ体験、市内見学等 ○グレシャム市からの訪問 受入期間:2/6~2/15 受入:中学生6人 引率:教諭1名 (計7人:女性6人、男性1人) 内容:第三中、大麻中での体験学習、ホームステイ体験、市内等施設見学		○グレシャム市への訪問団 派遣期間:12/1~12/11 派遣:中学生6人 引率:教諭1人、職員1人 (計8人:女性4人、男性4人) 内容:ゴードンラッセル校での体験学習、ホームステイ体験、市内見学等 ○グレシャム市からの訪問 受入期間:2/3~2/12 受入:中学生6人 引率:教諭2人 (計8人:女性5人、男性3人) 内容:野幌中、中央中での体験学習、ホームステイ体験、市内等施設見学		○グレシャム市への訪問団 派遣期間:11/2~11/12 派遣:中学生6人 引率:教諭1人、職員2人 (計9人:女性6人、男性3人) 内容:ゴードンラッセル校での体験学習、ホームステイ体験、市内見学等 ○グレシャム市からの訪問 受入期間:2/2~2/11 受入:中学生6人 引率:教諭1人 (計7人:女性7人) 内容:第二中、大麻中での体験学習、ホームステイ体験、市内等施設見学	
					決算額(円)	1,859,120	決算額(円)	2,047,670	決算額(円)	2,080,690	決算額(円)	2,504,110

【基本方針2】政策や方針決定過程への女性の参画拡大と女性の力を活かした政策の推進

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)	
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—
1		人事異動関連事務(女性管理職登用)	総務部職員課	組織体系の中で、適正な能力評価を前提としながら、女性管理職の登用など、組織の意思決定の場において女性の参画を促進する。	○女性管理職(平成26年4月1日現在) ・部長職 1人 ・部次長職 1人 ・課長職 5人 計 7人 ○平成26年4月1日付け女性管理職新規登用 ・部長職 1人 ・課長職 2人		○女性管理職(平成27年7月1日現在) ・部長職 1人 ・部次長職 1人 ・課長職 6人 計 8人 ○平成27年4月1日付け女性管理職新規登用 ・課長職 1人 ○平成27年7月1日付け女性管理職新規登用 ・課長職 1人		○女性管理職(平成28年4月1日現在) ・部長職 1人 ・部次長職 0人 ・課長職 5人 計 6人 ○平成28年4月1日付け女性管理職新規登用 ・課長職 1人		○女性管理職(平成29年4月1日現在) ・部長職 1人 ・部次長職 0人 ・課長職 4人 計 5人	
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—
2		職員採用事務	総務部職員課	複雑・多様化する行政課題に対応できる有能で多様な人材を確保するため、平等取扱いの原則、能力の実証に基づき、どの職種においても男女を問わず競争試験により採用を行う。	○職員採用試験の実施状況 ・平成26年度(第一回・第二回) 延べ受験者 861人 (うち女性 220人) 採用者 33人 (うち女性 10人)		○職員採用試験の実施状況 ・平成27年度(第一回・第二回) 延べ受験者 931人 (うち女性 246人) 採用者 31人 (うち女性 8人)		○職員採用試験の実施状況 ・平成28年度(第一回・第二回) 延べ受験者 721人 (うち女性 184人) 採用者 23人 (うち女性 8人) ※江別市職員採用ガイダンスの実施 現役職員が登壇する仕事紹介では、育児休業を経験した女性職員が自身の仕事内容や体験談を紹介することで、女性も活躍できる職場であることをPRした。		○職員採用試験の実施状況 ・平成29年度(第一回・第二回) 延べ受験者 564人 (うち女性 155人) 採用者 39人 (うち女性 13人)	
					決算額(円)	4,062,148	決算額(円)	4,486,078	決算額(円)	4,633,085	決算額(円)	4,185,585
3		審議会等への女性委員の登用促進	生活環境部 市民生活課	審議会等への女性の参画により、多様な価値観を反映することで、新たな発想が得られたり組織の活性化が図られる。	各種審議会委員の女性登用状況等を江別市男女共同参画共同参画推進本部や庁内関係部局に情報提供するとともに、女性委員の登用を促進した。		各種審議会委員の女性登用状況等を江別市男女共同参画共同参画推進本部や庁内関係部局に情報提供するとともに、女性委員の登用を促進した。		各種審議会委員の女性登用状況等を江別市男女共同参画推進本部や庁内関係部局に情報提供するとともに、女性委員の登用を促進するよう努めた。		各種審議会委員の女性登用状況等を江別市男女共同参画推進本部や庁内関係部局に情報提供するとともに、女性委員の登用を促進するよう努めた。	
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—

施策関連事業実施状況(平成26年度～平成29年度)

【基本方針3】就労・雇用・起業など働く人たちの男女共同参画の推進

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)	
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)	
1		市内大学等インターンシップ事業	総務部職員課	市内大学との連携により、学生の職業意識の向上及び市政に対する理解を促進するとともに、将来、市や市内企業等において活躍できる人材を、男女を問わず育成するため、市内大学の在学学生を、市の各部署にインターンシップ実習生として受け入れ、就業体験実習を実施する。	インターンシップ実習生の受入状況 ・平成26年度 実習生 9人 (うち女性 3人)	○インターンシップ実習生の受入状況 ・平成27年度 実習生 10人 (うち女性 4人)	○インターンシップ実習生の受入状況 ・平成28年度 実習生 8人 (うち女性 2人)	○インターンシップ実習生の受入状況 実習生 9人 (うち女性 4人)	113,180	106,960	93,500	68,130
2		都市と農村交流事業	経済部農業振興課	都市と農村の交流を推進するため、グリーンツーリズム関連事業者との連携を図るとともに、各種イベントの開催を支援する。	○「まち」と「むら」の交流推進協議会総会の開催 実施日:3/26 参加者:17人(女性4人) ○その他 ・直売所スタンプラリーの実施 ・野菜栽培講習会の実施 ・加工品フェアの実施	○江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会総会の開催 実施日:3/25 参加者:15人(女性4人) ○その他 ・直売所スタンプラリーの実施 ・野菜栽培講習会の実施 ・加工品フェアの実施	○江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会総会の開催 実施日:3/27 参加者:19人(女性7人) ○その他 ・直売所スタンプラリーの実施 ・野菜栽培講習会の実施 ・加工品フェアの実施	○江別市「まち」と「むら」の交流推進協議会総会の開催 実施日:3/20 参加者:25人(女性6人) ○その他 ・直売所スタンプラリーの実施 ・野菜作り講習会の実施 ・加工品フェアの実施	1,069,000	992,000	1,000,000	1,000,000
3		地域農業経営安定推進事業	経済部農業振興課	地域農業の経営安定推進のため、 ①人・農地プランの作成及び更新を行う ②集積協力者へ協力金の給付を行う ③経営体へ機械導入費の一部補助を行う事業。	人・農地プランを作成する際の検討会メンバーは、国の要綱(人・農地問題解決加速化支援事業実施要綱)に基づき、概ね3割以上を女性で構成している。 【人・農地プラン検討会】 メンバー19人中 女性8人(42.1%)	人・農地プランを作成する際の検討会メンバーは、国の要綱(人・農地問題解決加速化支援事業実施要綱)に基づき、概ね3割以上を女性で構成している。 【人・農地プラン検討会】 メンバー12人中 女性5人(41.7%)	人・農地プランを作成する際の検討会メンバーは、国の要綱(人・農地問題解決加速化支援事業実施要綱)に基づき、概ね3割以上を女性で構成している。 【人・農地プラン検討会】 メンバー16人中 女性5人(31.3%)	人・農地プランを作成する際の検討会メンバーは、国の要綱(人・農地問題解決加速化支援事業実施要綱)に基づき、概ね3割以上を女性で構成している。 【人・農地プラン検討会】 メンバー16名中 女性5名(31.3%)	44,244,000	41,717,000	72,194,000	777,600
4		「農業委員会だより」の発行、配布	農業委員会事務局	配偶者等も加入できる農業者年金に係る情報等を掲載した農業委員会機関紙を編集し、農事実行組合所属世帯(農協組合員世帯)及び各関係機関等に配付する。	○「農業委員会だより」 ・印刷部数:850部 ・主な配付先 JA組合員世帯(615部) JA組合員外世帯(29部) JA江別営農センター(3部) 道石狩振興局石狩農業改良普及センター江別分室(3部) ・配付(発送)日:3/27  ○農業者年金協議会ニュース ・印刷部数:360部 ・配付(発送)先 協議会加入344世帯	○「農業委員会だより」 ・印刷部数:850部 ・主な配付先 JA組合員世帯(530部)、JA組合員外世帯(29部)、JA道央江別営農センター(3部)、市農業委員(20部) ・配付(発送)日:5/2	○「農業委員会だより」 ・印刷部数:600部 ・主な配付先 JA組合員世帯(515部)、JA組合員外世帯(29部)、JA道央江別営農センター(5部)、市農業委員(20部)、(一社)北海道農業会議(1部) ・配付(発送)日:4/10  ○農業者年金協議会ニュース ・印刷部数:300部 ・配付(発送)先 協議会加入297世帯	○「農業委員会だより」 ・印刷部数:600部 ・主な配付先 JA組合員世帯(499部)、JA組合員外世帯(14部)、JA道央江別営農センター(5部)、市農業委員(20部)、(一社)北海道農業会議(1部) ・配付(発送)日:3/26  ○農業者年金協議会ニュース ・印刷部数:300部 ・配付(発送)先 協議会加入284世帯	68,850	68,850	71,928	69,984

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)					
5		起業化促進支援事業	経済部企業立地推進室 企業立地課	江別市内で市民が新たに事業を起すことや、既存企業が新事業を創出することで、地域経済が活性化することから、起業化促進に係る事業を実施する。	○起業を目指す方のために、中小企業診断士の資格を持つ相談員が相談を実施した。 ・相談員 1人 ・相談者数11人(うち女性3人) ・相談回数27回(うち女性9回) ○創業時の方のために、インキュベート施設「元町アンビシャスプラザ」を市と地元商店街が協同で運営した。 ・看板製作 ・共用部分を市が負担	○起業を目指す方のために、中小企業診断士の資格を持つ相談員が相談を実施した。 ・相談員 1人 ・相談者数 6人(うち女性2人) ・相談回数 9回(うち女性2回) ○創業する方のためにインキュベート施設「元町アンビシャスプラザ」を市と地元商店街が協同で運営。 ・看板製作 ・共用部分を市が負担	○起業を目指す方のために、中小企業診断士の資格を持つ相談員が相談を実施した。 ・相談員 1人 ・相談者数 15人(うち女性8人) ・相談回数 23回(うち女性12回) ○創業する方のためにインキュベート施設「元町アンビシャスプラザ」を市と地元商店街が協同で運営。 ・看板製作 ・共用部分を市が負担 ○市内での起業を促進することを目的とした江別起業化促進支援セミナーの開催 ・参加者数 22人(うち女性8人) ○創業に必要な知識を身に付けてもらうことを目的とした江別市実践創業塾の開催 ・参加者数 11人(うち女性4人)	○起業を目指す方のために、中小企業診断士の資格を持つ相談員が相談を実施した。 ・相談員 1人 ・相談者数 16人(うち女性 2人) ・相談回数 24回(うち女性 2回) ○創業する方のためにインキュベート施設「元町アンビシャスプラザ」を市と地元商業者が協同で運営 ・看板製作 ・共用部分を市が負担 ○市内での起業を促進することを目的とした江別起業化促進支援セミナーの開催(9/2) ・参加者数 13人(うち女性 6人) ○創業に必要な知識を身に付けてもらうことを目的とした江別市実践創業塾の開催(9/28、10/5・19・26) ・参加者数 13人(うち女性 6人)	決算額(円)	2,487,568	決算額(円)	2,366,508	決算額(円)	3,137,600	決算額(円)	3,172,538
6		高校生就職支援事業	経済部商工労働課	市内高校が行うインターンシップに関して生徒に事前研修を実施したり、就職を希望する生徒に対して面接指導や進路講話等を実施することにより、生徒における職業観の醸成や、就職活動の支援を行う。	行政・教育機関・事業所が連携し、インターンシップや就職活動の支援を行った。 【インターンシップ】 ○受入事業所数 80事業所 ○参加者数 148人 【就職支援】 ○研修開催回数 12回 ・就職面接指導 ・マナー研修 ・進路講話 ・合同企業説明会 など ○研修参加者 302人(延べ)	行政・教育機関・事業所が連携し、インターンシップや就職活動の支援を行った。 【インターンシップ】 ○参加者数 271人 【就職支援】 ○研修開催回数 11回 ・模擬面接 ・社会人基礎力講座 ・内定者研修 ・企業交流会 など ○研修参加者(延べ) 598人	行政・教育機関・事業所が連携し、インターンシップや就職活動の支援を行った。 【インターンシップ】 ○参加者数 272人 【就職支援】 ○研修開催回数 13回 ・模擬面接 ・社会人基礎力講座 ・内定者研修 ・企業交流会 など ○研修参加者(延べ) 619人	行政・教育機関・事業所が連携し、インターンシップや就職活動の支援を行った。 【インターンシップ】 ○参加者数 261人 【就職支援】 ○研修開催回数 9回 ・模擬面接 ・社会人基礎力講座 ・内定者研修 ・企業交流会 など ○研修参加者(延べ) 399人	決算額(円)	2,612,952	決算額(円)	2,500,000	決算額(円)	2,500,000	決算額(円)	2,500,000
7		有給インターンシップ等地域就職支援事業	経済部商工労働課	市内大学の学生のキャリア形成と市内企業における労働力の確保と人材育成の両立を図るため、有給のインターンシップ制度の支援を行う。	市内4大学の学生による有給インターンシップ制度を支援するため、大学や市内経済団体・市内企業等との協議や、学内説明会による学生募集等を行った。 ○地域雇用連絡会議 1回開催 ○学内説明会 ・実施回数 5回 ・参加者数 42人(延べ) ○有給インターンシップ登録者数 16人 ○有給インターンシップ参加者数 4人	有給インターンシップ制度運営に係る学生の登録、企業とのマッチング、勤務管理について、人材派遣会社への委託により実施した。 ○登録者に対する事前研修の実施 ・PCスキル ・マナー ほか ○年度末登録学生数 55人 ○有給インターンシップ参加者数 40人	有給インターンシップ制度運営に係る学生の登録、企業とのマッチング、勤務管理について、人材派遣会社への委託により実施した。 ○事前研修 ・PCスキル ・ビジネスマナー ほか ○実務研修(有給インターンシップ) ○年度末登録学生数 69人 ○有給インターンシップ参加者数 45人	有給インターンシップ制度運営に係る学生の登録、企業とのマッチング、勤務管理について、人材派遣会社への委託により実施した。 ○事前研修 ・PCスキル ・ビジネスマナー ほか ○実務研修(有給インターンシップ) ○年度末登録学生数 66人 ○有給インターンシップ参加者数 46人	決算額(円)	1,700	決算額(円)	11,364,430	決算額(円)	11,251,079	決算額(円)	13,035,600

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(参考)
8	○	働きたい女性のための就職支援事業(機会提供)	経済部商工労働課	男女共同参画の視点から、子育て等をしてしながら就業を望む女性と企業とのマッチングや保育サービス等の相談を併せた複合的な就業支援イベントを開催する。	就職支援イベントを開催(1回) ・開催年月 7月 ・会場 江別市民会館小ホール ・出展企業 6社 ・来場者数 130人 ・就職者数 1人 ・パネルディスカッション 「働くこと、子育てのこと、みんなに伝えるパネルディスカッション」			
					決算額(円)	891,000	決算額(円)	
9	○	働きたい女性のための就職支援事業(技能習得)	経済部商工労働課	就職を希望する女性等に対する技能講習会を開催し、就職を支援する。	パソコン講習を開催(3回) ○かんたんパソコン講座 ・開催年月 8月(2回) ・受講者数 29人 ・会場 江別市民活動センター ○パソコン講座実務編 ・開催年月 12月(1回) ・受講者数 3人 ・会場 江別市民活動センター			
					決算額(円)	192,560	決算額(円)	
10	○	働きたい女性のための就職支援事業(情報提供)	経済部商工労働課	女性の雇用や人材育成に積極的な企業の情報を提供することにより就職を支援する。 ・配布時期 7月 ・配布方法 広報えべつ7月号折込 ・紹介企業 2社	市内の産業等を紹介する広報紙に女性の雇用に積極的な企業紹介を掲載し、市民向けに配布した。			
					決算額(円)	297,830	決算額(円)	
11	○	働きたい女性のための就職支援事業	経済部商工労働課	男女共同参画の視点から、子育て等をしてしながら就業を望む女性に対する各種支援を実施する(子育て支援相談、就職啓発イベント、関係機関との連携による各種セミナー、職場研修を含む就職支援など)。	○就職支援イベント開催(1回) 来場者数 110人 ○相談窓口開設 相談者数 41人 ○面接対策等セミナー(4回) 参加者数 26人 ○PC研修(2回) 参加者数 42人 ○研修、OJTを通じた就職支援(2回) 参加者数 48人 就職者数 45人	○就職支援イベント開催(1回) 来場者数 30人 ○ぼこあぼこ相談窓口 相談者数 39人 ○マザーズセミナー(4回) 参加者数 45人 ○PC研修(2回) 参加者数 42人 ○人材育成事業 (研修、OJTを通じた就職支援) (年2回、定員48名) 参加者数 48人 就職者数 44人	○就職イベント(1回) 来場者数 66人 ○ぼこあぼこ相談窓口 相談者数 35人 ○マザーズセミナー(4回) 参加者数 41人 ○人材育成事業 (研修、OJTを通じた就職支援) 年2回、定員48人 参加者数 48人 就職者数 44人	
					決算額(円)		決算額(円)	25,044,852
12	○	緊急雇用創出事業(事務系人材育成事業)	経済部商工労働課	就職を希望する女性を雇用し、OFF-JT研修や市内企業での職場実習を行い、就職を支援する。	女性の就職支援のための研修事業を実施した。 ・実施期間 9月~12月 ・参加人数 24人 ○OFF-JT研修 マナー研修 パソコン研修 就職支援カウンセリングなど ○職場実習 実習先 市内事務系企業2社 実習内容 書類検査、データ入力など ○就職者数 24人			
					決算額(円)	13,524,196	決算額(円)	

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)	
13		キャリア教育推進事業	教育部学校教育支援室 学校教育課	中学生の望ましい勤労観や職業観を醸成するため、市内の民間企業や幼稚園、福祉施設等の事業所で職場体験学習を行う「キャリア教育」を実施する。	3日間、中学校7校の特定学年で職場体験を実施した。 ○受入事業所数:114事業所 ○参加者数:925人		3日間、中学校7校の特定学年で職場体験を実施した。 ○受け入れ事業所:124事業所 ○参加者数:946人		3日間、中学校7校の特定学年で職場体験を実施した。 ○受入れ事業所:111事業所 ○参加者数:848人		3日間、中学校7校の特定学年で職場体験を実施した。 ○受入れ事業所:112事業所 ○参加者数:823人	
					決算額(円)	418,884	決算額(円)	577,895	決算額(円)	444,236	決算額(円)	557,485
14		消防職員研修費	消防本部総務課	総務省消防庁が示している女性の活躍推進に基づき、本市女性消防職員の採用に向け、より良い人材の確保を目的に受験者を増加させるため、消防本部の広報や説明会を開催するもの。							○ポスターチラシの作成 ・配布先(近隣高校11校、近隣専門学校4校市内4大学、市内事業所等約60カ所) ○説明会開催に伴う広報 ・広報媒体(消防本部ホームページ・北海道新聞・ユベオツの風・まんまる新聞) ○説明会7月8日開催(参加者 大学院生1名、大学生1名、専門学生8名 合計10名) ・女性消防職員による職業説明 ・庁舎、施設、設備、各業務の見学 ・女性消防職員との質疑応答や意見交換 ・アンケート調査	
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)	32,400

【基本方針4】子育てや介護等、家庭生活における男女共同参画の推進

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)	
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—
1		特定事業主行動計画関係事務	総務部職員課	仕事と家庭生活の両立の促進に加え、女性活躍の視点を新たに取り入れて行動計画を改正し、名称も「江別市職員の仕事・子育て・女性活躍に関する行動計画」とした。当該計画に基づき、ワークライフバランスと女性職員活躍の推進を図っている。	○新規採用職員研修においてワークライフバランスに係る内容の研修を実施 ○過重労働対策として、ストレスチェック、産業医面談等を実施 ○職員向けの子育て支援ガイドの配布		○第3期計画を策定後、女性活躍推進法の施行を受けて、第3期計画を「江別市職員の仕事・子育て・女性活躍推進に関する行動計画」として改正するための検討を実施。 ○第3期計画の検討に当たり、全職員にアンケート調査を実施。 ○新規採用職員研修においてワークライフバランスに係る内容の研修を実施 ○職員向けの子育て支援ガイドの周知、更新		○第3期計画を「江別市職員の仕事・子育て・女性活躍に関する行動計画」に改正。 ○「江別市職員の仕事・子育て・女性活躍に関する行動計画」に基づき、ワークライフバランスの実現と女性活躍を推進。 ○新規採用職員研修における講義の中で、ワークライフバランスの重要性について説明。 ○職員向けの子育て支援ガイドの周知		○新規採用職員研修においてワークライフバランスに係る内容の研修を実施 ○職員向けの子育て支援ガイドの周知、更新	
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—
2		各種休暇制度の取得促進	総務部職員課	育児休業制度等の各種休暇制度を周知し、働きやすい環境づくりを推進する。	○新規採用職員研修での休暇制度等の周知 ○育児休業対象者へのQ&Aの配布 ○各種休暇制度の職員周知 ○職員向けの子育て支援ガイドの配布		○新規採用職員研修での休暇制度等の周知 ○育児休業対象者へのQ&Aの配布 ○各種休暇制度の職員周知 ○職員向けの子育て支援ガイドの周知、更新		○新規採用職員研修での休暇制度等の周知 ○育児休業対象者へのQ&Aの配布 ○各種休暇制度の職員周知 ○職員向けの子育て支援ガイドの周知		○新規採用職員研修での休暇制度等の周知 ○育児休業対象者へのQ&Aの配付 ○各種休暇制度の職員周知 ○職員向けの子育て支援ガイドの周知	
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—
3		シルバーウィーク開催経費	健康福祉部介護保険課	各事業に参加してもらうことにより、社会参加を促し、生きがいづくりとしてもらう。 市内在住の概ね60歳以上の高齢者を対象として、高齢者クラブ、社会福祉協議会との共催により、老人週間にあわせ市民会館等において、長寿祝品贈呈式、健康優良表彰式、演芸発表会、男性料理教室などを行う。	永年にわたり地域社会の発展のために力を尽くされた高齢者の長寿を祝い、広く敬愛の思想を普及するとともに、老後の生きがいと健康を高める機会とし、市民一人ひとりが老後を自らの問題として認識し理解を深め、それぞれの地域において世代間の交流・連帯を強め、誰もが安心して生きがいをもって暮らせる社会を築く機会とするため、シルバーウィークを開催した。 ○シルバーウィーク開会式 開催日：9/33 来場者数：1,061人 ○長寿祝品贈呈式 長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらうため9月1日から翌8月31日までに満100歳の誕生日を迎えられる方に長寿祝品を贈呈する。 対象者：26人 ○男性料理教室 食生活改善推進員を講師に、男性高齢者を対象として、基礎からやさしく学べる料理教室を開催する。 参加者：10人		永年にわたり地域社会の発展のために力を尽くされた高齢者の長寿を祝い、広く敬愛の思想を普及するとともに、老後の生きがいと健康を高める機会とし、市民一人ひとりが老後を自らの問題として認識し理解を深め、それぞれの地域において世代間の交流・連帯を強め、誰もが安心して生きがいをもって暮らせる社会を築く機会とするため、シルバーウィークを開催する。 ○シルバーウィーク開会式 開催日：9月2日(水) 来場者数：949人 ○長寿祝品贈呈式 長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらうため9月1日から翌8月31日までに満100歳の誕生日を迎えられる方に長寿祝品を贈呈する。 対象者：32人 ○男性料理教室 食生活改善推進員を講師に、男性高齢者を対象として、基礎からやさしく学べる料理教室を開催する。 参加者：10人		永年にわたり地域社会の発展のために力を尽くされた高齢者の長寿を祝い、広く敬愛の思想を普及するとともに、老後の生きがいと健康を高める機会とし、市民一人ひとりが老後を自らの問題として認識し理解を深め、それぞれの地域において世代間の交流・連帯を強め、誰もが安心して生きがいをもって暮らせる社会を築く機会とするため、シルバーウィークを開催する。 ○シルバーウィーク開会式 開催日：9月2日(金) 来場者数：947人 ○長寿祝品贈呈式 長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらうため9月1日から翌8月31日までに満100歳の誕生日を迎えられる方に長寿祝品を贈呈する。 対象者：36人 ○男性料理教室 食生活改善推進員を講師に、男性高齢者を対象として、基礎からやさしく学べる料理教室を開催する。 参加者：9人		永年にわたり地域社会の発展のために力を尽くされた高齢者の長寿を祝い、広く敬愛の思想を普及するとともに、老後の生きがいと健康を高める機会とし、市民一人ひとりが老後を自らの問題として認識し理解を深め、それぞれの地域において世代間の交流・連帯を強め、誰もが安心して生きがいをもって暮らせる社会を築く機会とするため、シルバーウィークを開催する。 ○シルバーウィーク開会式 開催日：9月6日(水) 来場者数：870人 ○長寿祝品贈呈式 長寿を祝福し、社会に貢献した労をねぎらうため9月1日から翌8月31日までに満100歳の誕生日を迎えられる方に長寿祝品を贈呈する。 対象者：48人 ○男性料理教室 食生活改善推進員を講師に、男性高齢者を対象として、基礎からやさしく学べる料理教室を開催する。 参加者：11人	
					決算額(円)	540,512	決算額(円)	601,795	決算額(円)	613,629	決算額(円)	728,592

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)	
4		介護予防一次予防事業	健康福祉部 介護保険課	介護を必要とする状態にならず、健康を維持・増進する。 65歳以上の高齢者の方を対象に、介護予防に関する教室を開催し、要介護状態にならないようにするための情報等を提供する。	○介護予防講座(元気の達人養成講座) ・実施回数:69回 ・延参加人数:662人 (男性:138人、女性:524人) ○介護予防出前講話 ・実施回数:81回 ・延参加人数:1,636人 (男性:500人、女性:1,136人)		○介護予防講座(元気の達人養成講座) ・実施回数:72回 ・延参加人数:609人 (男性:162人、女性:447人) ○介護予防出前講話 ・実施回数:81回 ・延参加人数:1,575人 (男性:495人、女性:1,080人)		○介護予防講座(元気の達人養成講座) ・実施回数:72回 ・延参加人数:556人 (男性:141人、女性:415人) ○介護予防出前講話 ・実施回数:54回 ・延参加人数:1,094人 (男性:399人、女性:695人)			
					決算額(円)	2,773,440	決算額(円)	2,867,400	決算額(円)	4,163,086	決算額(円)	
5		一般介護予防事業	健康福祉部 介護保険課	要介護状態にならず、健康を維持・増進する。 65歳以上の高齢者の方を対象に、介護予防のために、高齢者自身が取り組める生活機能の維持・向上に向けた講座の開催などから、高齢者の自発的な活動を支援する。							○介護予防講座(シニアの元気アップ講座) ・実施回数:13回 ・延参加人数:319人 (男性:87人)(女性:232人) ○介護予防出前講話 ・実施回数:79回 ・延参加人数:1,196人 (男性:375人)(女性:821人)	
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)	4,705,987
6		乳幼児健康診査推進事業	健康福祉部 保健センター	乳幼児の健康の保持、増進及び保護者の育児力の向上と発育及び発達の遅滞、疾病を早期に発見し、適切な支援を図るため、乳幼児及びその保護者を対象に、4か月、10か月、1歳6か月、3歳児健診等を実施する。	※保健センターで実施 ○4か月児健診 ・実施回数:24回・受診者数:682人 ○1歳6か月児健診 ・実施回数:24回・受診者数:716人 ○3歳児健診 ・実施回数:24回・受診者数:766人 ※市内医療機関で個別受診 ○10か月児健診 ・受診者数:693人		○4か月児健診 ・実施回数:24回・受診者数:630人 ○1歳6か月児健診 ・実施回数:24回・受診者数:734人 ○3歳児健診 ・実施回数:24回・受診者数:772人 ○10か月児健診 ・受診者数:669人		○4か月児健診 ・実施回数24回・受診者数671人 ○10か月児健診 ・受診者数653人 ○1歳6か月児健診 ・実施回数24回・受診者数715人 ○3歳児健診 ・実施回数24回・受診者数808人		○4か月児健診 ・実施回数24回・受診者数651人 ○10か月児健診 ・受診者数671人 ○10歳6か月児健診 ・実施回数24回・受診者数677人 ○3歳児健診 ・実施回数24回・受診者数763人	
					決算額(円)	12,844,624	決算額(円)	12,363,883	決算額(円)	12,419,498	決算額(円)	12,945,202
7		こんにちは赤ちゃん事業	健康福祉部 子育て支援課	生後4か月までの赤ちゃんのいる家庭を主任児童委員が中心となって訪問し、子育てに関する情報提供を行ったり、子育てに関して必要な支援についての調整を行う。	生後4か月までの赤ちゃんのいる全家庭を主任児童委員等が訪問を行った。 ○訪問世帯数:722世帯/年 ○保護者数:744人		生後4か月までの赤ちゃんのいる全家庭を主任児童委員等が訪問。 ○訪問世帯数:694世帯/年 ○保護者数:748人		生後4か月(転入者は1歳未満)までの赤ちゃんのいる全家庭を主任児童委員等が訪問。併せて企業協賛品も配布する。 ○訪問世帯数:703世帯 ○対象世帯数:728世帯		生後4か月(転入者は1歳未満)までの赤ちゃんのいる全家庭を主任児童委員等が訪問。併せて企業協賛品も配布する。 ○訪問世帯数:709世帯 ○対象世帯数:729世帯	
					決算額(円)	1,387,304	決算額(円)	1,392,912	決算額(円)	1,446,135	決算額(円)	1,503,965
8		親と子の絵本事業	健康福祉部 子育て支援課	「こんにちは赤ちゃん」事業との連携により、生後4か月までの赤ちゃんのいる家庭を訪問する際に絵本を配布し、親子のコミュニケーションの時間を共有してもらうことを期待し、子育て支援の一助とする。	生後4か月までの赤ちゃんのいる全家庭を主任児童委員等が訪問し、絵本を配布した。 ○訪問世帯数:722世帯/年 ○保護者数:744人		生後4か月までの赤ちゃんのいる全家庭を主任児童委員等が訪問し、絵本を配布。 ○訪問世帯数:694世帯/年 ○保護者数:748人		生後4か月までの赤ちゃんのいる全家庭を主任児童委員等が訪問し、絵本を配布。 ○訪問世帯数:703世帯 ○対象世帯数:728世帯		生後4か月(転入者は1歳未満)までの赤ちゃんのいる全家庭を主任児童委員等が訪問し、絵本を配布。 ○訪問世帯数:709世帯 ○対象世帯数:729世帯	
					決算額(円)	896,685	決算額(円)	963,213	決算額(円)	960,000	決算額(円)	909,997
9	○	児童館地域交流推進事業	健康福祉部 子育て支援課	地域の人々のふれあいの中で、異年齢の人々を通じて、各種行事やイベントに参加することで、仲間同士の協力、自主性、可能性を引き出し、児童の健全育成を図る。	児童センターを開館し、各種行事やイベントを実施した。 ・年間開館日数:293日 ・年間利用人数:41,067人		児童センターを開館し、各種行事やイベントを実施。 年間開館日数:294日 年間利用人数:45,241人		児童センターを開館し、各種行事やイベントを実施。 年間開館日数:293日 年間利用延人数:41,092人		児童センターを開館し、各種行事やイベントを実施。 年間開館日数:293日 年間利用延人数:47,904人	
					決算額(円)	49,432,609	決算額(円)	51,353,742	決算額(円)	52,792,302	決算額(円)	55,132,608

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)					
10	○	放課後児童クラブ運営費補助金	健康福祉部子育て支援課	保護者の就労等により日中家庭に保護者がいない児童を対象として、放課後の児童の生活の場を確保し、児童の健全育成を図り、放課後児童会を安定して運営できるように、民間の放課後児童会に対して運営費の一部を補助金として交付する。	民間の放課後児童会に対して運営費の一部を補助金として交付した。 ・補助対象児童会数:15団体 ・年間平均開設日数:283日 ・年間平均登録児童数:579人	民間の放課後児童会に対して運営費の一部を補助金として交付。 補助対象児童会数:16団体 年間平均開設日数:285日 年間平均利用児童数:527人	民間の放課後児童クラブに対して運営費の一部を補助金として交付。 補助対象児童クラブ数:17団体 年間平均開設日数:280日 年間平均利用児童数:618人	民間の放課後児童クラブに対して運営費の一部を補助金として交付。 補助対象児童クラブ数:16団体 年間平均開設日数:286日 年間平均利用児童数:541人	決算額(円)	66,205,250	決算額(円)	71,687,500	決算額(円)	83,327,209	決算額(円)	83,431,776
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)					
11	○	放課後児童クラブ運営事業	健康福祉部子育て支援課	保護者の就労等により日中家庭に保護者がいない児童を対象として、放課後の児童の生活の場を確保し、児童の健全育成を図るため、江別第一小学校内に開設した放課後児童クラブの運営を民間事業者へ委託する。				受託事業者[(学)江別若葉学園]に対して運営に係る費用の一部を委託料として支払う。 年間開設日数:293日 年間平均利用児童数:56人	決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)	14,756,394		
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)					
12	○	豊幌こども広場開設事業	健康福祉部子育て支援課	豊幌地区において、保護者の就労等により日中家庭に保護者がいない児童等を対象として、放課後の児童の交流の場を確保し、児童の健全育成を図り、地域における子育て事業を安定して運営できるように、豊幌のこども広場運営委員会に対して運営費の一部を補助金として交付する。	豊幌こども広場に対して運営費補助金を交付した。 ・年間開設日数:270日 ・年間平均登録児童数:11人	豊幌こども広場に対して運営費補助金を交付。 年間開設日数:291日 年間平均登録児童数:5人	運営委員会に対して運営費補助金を交付。 年間開設日数:290日 年間参加児童数:4人	運営委員会に対して運営費補助金を交付。 年間開設日数:290日 年間参加児童数:8人	決算額(円)	523,000	決算額(円)	523,000	決算額(円)	339,000	決算額(円)	203,000
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)					
13	○	子育て支援短期利用事業(ショートステイ事業)	健康福祉部子育て支援課	保護者が疾病、出産、看護、事故、災害、出張等の社会的事由により、一時的に児童の養育が困難となった保護者の家庭において、児童を児童養護施設において一定期間養育・保護する。	保護者が疾病、出産、看護、事故、災害、出張等の社会的事由により、一時的に児童の養育が困難となった保護者の家庭において、児童を児童養護施設において一定期間養育・保護した。 ・年間利用児童数:5人	保護者が疾病、出産、看護、事故、災害、出張等の社会的事由により、一時的に児童の養育が困難となった保護者の家庭において、児童を児童養護施設において一定期間養育・保護した。 ○年間利用児童数:9人	一時的に児童の養育が困難となった保護者の家庭において、児童を児童養護施設にて一定期間養育・保護する。 ○年間利用児童数:2人	一時的に児童の養育が困難となった家庭の児童を、児童養護施設にて一定期間養育・保護する。 ○年間利用児童数:1人	決算額(円)	125,700	決算額(円)	357,000	決算額(円)	113,000	決算額(円)	49,500
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)					
14	○	子育て支援夜間養護等事業(トワイライトステイ事業)	健康福祉部子育て支援課	保護者が仕事その他の理由により、平日の夜間または休日に不在となり、一時的または緊急的に児童の養育が困難となった保護者の家庭において、児童を児童養護施設において一時的に保護し、生活指導、食事の提供等を行う。	保護者が仕事その他の理由により、平日の夜間または休日に不在となる家庭において、児童を養育することが困難となった場合及びその他の緊急の場合において保護し、生活指導、食事の提供等を行った。 ・年間利用児童数:1人	保護者が仕事その他の理由により、平日の夜間または休日に不在となる家庭において、児童を養育することが困難となった場合及びその他の緊急の場合において保護し、生活指導、食事の提供等を行った。 ○年間利用児童数:2人	一時的または緊急的に児童の養育が困難となった保護者の家庭において、児童を児童養護施設にて一時的に保護する。 ○年間利用児童数:0人	一時的または緊急的に児童の養育が困難となった家庭の児童を、児童養護施設にて一時的に保護する。 ○年間利用児童数:0人	決算額(円)	2,350	決算額(円)	5,000	決算額(円)	0	決算額(円)	0
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)					
15	○	ファミリー・サポート事業	健康福祉部子育て支援課	子育ての援助が欲しい人(依頼会員)と援助ができる人(提供会員)とで会員組織をつくり、ニーズに合わせて援助内容を調整し、子育て支援を地域社会の中で有償ボランティアで行い、子育て家庭が安心して育児・就労できる環境をつくり、同時に地域で子どもを育てる意識の醸成を図る。	提供会員が、依頼会員の要請に基づいて援助活動を実施した。 ・年間活動件数:2,175件 ・登録会員数:697人(延べ)	提供会員が、依頼会員の要請に基づいて援助活動を実施。 年間活動件数:1,587件 延登録会員数:745人	提供会員が、依頼会員の要請に基づいて援助活動を実施。 年間活動延件数:1,279件 登録会員数:713人	提供会員が、依頼会員の要請に基づいて援助活動を実施。 年間活動延件数:1,228件 登録会員数:743人	決算額(円)	4,709,073	決算額(円)	4,543,277	決算額(円)	4,631,725	決算額(円)	4,771,560
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)					
16	○	待機児童解消対策事業	健康福祉部子ども育成課	平成27年4月からスタートした「子ども・子育て支援制度」の地域型保育事業における小規模保育(B型)と(C型)、事業所内保育を待機児童解消対策事業と位置付け、保育事業を実施する。	・小規模(家庭的)保育者等研修会 2回(8月、1月) ・実施施設数 2施設(合計総定員数20人)	・小規模(家庭的)保育者等研修会 1回(1月) ・実施施設数 5施設(合計総定員数78人)	・小規模(家庭的)保育者等研修会 1回(1月) ・実施施設数 5施設(合計総定員数78人)	・子育て支援員研修等研修 1回(12~2月) ・実施施設数 7施設(合計総定員数111人)	決算額(円)	6,474,711	決算額(円)	113,219,219	決算額(円)	156,908,592	決算額(円)	235,864,540
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)					

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)					
17	○	延長保育事業	健康福祉部 子ども育成課	就労等の状況により保育時間の延長が必要な入所者を対象に、認定区分に応じ保育時間を延長し保育を実施する。 ・実施園: 市内認可保育施設 全施設 ・保育時間 <短時間認定> 7:15~8:15、16:15~19:15 <標準時間> 18:15~19:15 (一部の施設では延長時間が異なる)	・延長保育申請登録者数 629人 ・延長保育利用者数(延べ) 20,181人	・延長保育申請登録者数 631人 ・延長保育利用者数(延べ) 19,931人	・延長保育申請登録者数 492人 ・延長保育利用者数(延べ) 19,053人	・延長保育申請登録者数 690人 ・延長保育利用者数(延べ) 17,300人	決算額(円)	53,932,755	決算額(円)	11,901,594	決算額(円)	11,993,980	決算額(円)	11,181,717
					決算額(円)	53,932,755	決算額(円)	11,901,594	決算額(円)	11,993,980	決算額(円)	11,181,717				
18	○	認可外保育施設 運営費補助金	健康福祉部 子ども育成課	江別市認可外保育施設運営費補助金交付要綱に基づき、設置から1年以上経過し、定員が10人以上で保育面積等が同要綱の対象となる認可外保育施設へ、牛乳代、低年齢児保育に係る事業費、保育従事者の健康診断経費等の保育園運営費の一部を補助する。	・補助対象認可外施設 3施設 ・延べ入所児童数 416人	・補助対象認可外施設 1施設 ・延べ入所児童数 5人	・補助対象認可外施設 0施設 ・延べ入所児童数 0人	・補助対象認可外施設 0施設 ・延べ入所児童数 0人	決算額(円)	1,162,875	決算額(円)	18,478	決算額(円)	0	決算額(円)	0
					決算額(円)	1,162,875	決算額(円)	18,478	決算額(円)	0	決算額(円)	0				

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度(参考)
19	○	子育て知識啓発事業	健康福祉部 子育て支援 室子ども育 成課 (子育て支 援センター 事業推進担 当)	子育て中の保護者が、子育てに関する知識等を身に付け、安心して育児ができるよう支援する。 ①子育て相談、子育て講演会・講習会の実施 ②父親の子育て参加の推進 ③子育てに関する情報の提供	①子育て相談、子育て講演会・講習会の実施 ○子育て相談 ・相談件数:263件/年 ○年齢別講座(一緒に子育て) ・年齢ごとに4コース(各コース3回ずつ) 前期・後期の年2回開催 ・実施回数:23回・参加人数:536人 ○子育て講演会(応急手当・手作りランチ講習会他) ・実施回数:5回・参加人数:118人 ○親子遊び講習会(市内6子育て支援センター合同企画) ・開催日:7/31・参加人数:118人 ②父親の子育て参加の推進 ○日曜ひろば・開催回数:年3回 ・参加人数:151人(内父親28人) ○子育て支援フェスティバル(すくすくまつり) ・開催日:9/14 ・参加人数:292人(内父親42人) ○地域づくり研修会 ・開催日:10/19 ・参加人数:32人(内父親3人) ○お父さんのお菓子づくり講習会(ホワイトデーのためのクッキー作り) ・開催日:3/8 ・参加人数:父親5人 ③子育てに関する情報の提供 ○子育て情報誌「ホップステップえべつ」の発行 ○すくすく通信の発行:年6回 ○「市内子育て支援センターだより」の発行: 年1回自治会回覧 ○お誕生日お祝いのおたより発行: 保健センターにて配布 ○HP、広報えべつにて情報の発信	【すくすく 開設日数~246日/年 利用者数~14,773人】 ①子育て相談、子育て講演会・講習会の実施 ○子育て相談 ・相談件数:449件/年 ○年齢別講座(一緒に子育て) ・年齢ごとに4コース(各コース3回ずつ) 前期・後期の年2回開催 ・実施回数:24回・参加人数:487人 ○子育て講演会(応急手当・手作りランチ講習会他) ・実施回数:8回・参加人数:146人 ○親子遊び講習会(市内6子育て支援センター合同企画) ・開催日:9/30(水)・参加人数:194人 ②父親の子育て参加の推進 ○日曜ひろば・開催回数:年3回 ・参加人数:138人(内父親29人) ○子育て支援フェスティバル(すくすくまつり) ・開催日:8/29(日) ・参加人数:455人(内父親30人) ○父親支援事業「子育て講習会」 ・開催日:11/29(日) ・参加人数:58人(内父親17人) ③子育てに関する情報の提供 ○子育て情報誌「ホップステップえべつ」の発行 ○すくすく通信の発行:年6回 ○「市内子育て支援センターだより」の発行: 年1回自治会回覧、保健センターにて配布(出生時) ○HP、広報えべつにて情報の発信	【すくすく 開設日数~245日/年 利用者数~14,252人】 ①子育て相談、子育て講演会・講習会の実施 ○子育て相談 ・相談件数:300件/年 ○年齢別講座(一緒に子育て) ・年齢ごとに4コース(各コース3回ずつ) 前期・後期の年2回開催 ・実施回数:24回・参加人数:537人 ○子育て講演会(応急手当・手作りランチ講習会他) ・実施回数:10回・参加人数:177人 ○親子遊び講習会(市内6子育て支援センター合同企画) ・開催日:9/28(水)・参加人数:139人 ②父親の子育て参加の推進 ○日曜ひろば・開催回数:年4回 ・参加人数:179人(内父親31人) ○子育て支援フェスティバル(すくすくまつり) ・開催日:8/27(土)・参加人数:451人(内父親50人) ○父親支援事業「子育て講習会」 ・開催日:10/29(土)・参加人数:33人(内父親13人) ③子育てに関する情報の提供 ○子育て情報誌「ホップステップえべつ」の発行 ○すくすく通信の発行:年6回 ○「市内子育て支援センターだより」の発行:年1回自治会回覧、保健センターにて配布(出生時) ○HP、広報えべつにて情報の発信	【すくすく 開設日数~244日/年 利用者数~11,783人】 ①子育て相談、子育て講演会・講習会の実施 ○子育て相談 ・相談件数:287件/年 ○年齢別講座(一緒に子育て) ・年齢ごとに2コース(各コース3回ずつ)I期・II期・III期の年3回開催 ・実施回数:18回・参加人数:293人 ○子育て講演会(応急手当・手作りランチ講習会他) ・実施回数:9回・参加人数:243人 ②父親の子育て参加の推進 ○日曜ひろば・開催回数:年5回 ・参加人数:297人(内父親28人) ○子育て支援フェスティバル(すくすくまつり) ・開催日:8/26(土) ・参加人数:467人(内父親49人) ○父親支援事業「子育て講習会」 ・開催日:10/15(日) ・参加人数:36人(内父親18人) ③子育てに関する情報の提供 ○子育て情報誌「ホップステップえべつ」の発行 ○すくすく通信の発行:年6回 ○「市内子育て支援センターだより」の発行:年1回自治会回覧、保健センターにて配布(出生時) ○HP、広報えべつにて情報の発信 【ぼろっこ 開設日数~244日/年 利用者数~5,013人】 ①子育て相談、子育て講演会・講習会の実施 ○子育て相談 ・相談件数:78件/年 ○子育て講演会(応急手当・コーチング講習会他) ・実施回数:8回・参加人数:128人
					決算額(円) 813,000	決算額(円) 559,414	決算額(円) 772,000	決算額(円) 815,330

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)	
20	○	民間子育て支援センター事業の推進	健康福祉部 子育て支援 室子ども育 成課 (子育て支 援センター 事業推進担 当)	子育て支援センター「すくすく」の設置(直営)にあわせ、江別・野幌・大麻地区に子育ての拠点となる支援センターを設置し、その運営を民間に委託して行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すくすく(江別全体総括)</li> <li>・開館日数:248日/年</li> <li>・利用者数:13,713人</li> <li>○どんぐり(江別地区)</li> <li>・開館日数:149日/年</li> <li>・利用者数:2,756人</li> <li>○ゆうあい(野幌地区)</li> <li>・開館日数:145日/年</li> <li>・利用者数:2,470人</li> <li>○わかば(野幌地区)</li> <li>・開館日数:221日/年</li> <li>・利用者数:4,181人</li> <li>○もりのこ(大麻地区)</li> <li>・開館日数:187日/年</li> <li>・利用者数:4,240人</li> <li>○ぐんぐん(大麻地区)</li> <li>・開館日数:138日/年</li> <li>・利用者数:1,768人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○どんぐり(江別地区)</li> <li>・開館日数:149日/年</li> <li>・利用者数:2,877人</li> <li>○ゆうあい(野幌地区)</li> <li>・開館日数:142日/年</li> <li>・利用者数:2,269人</li> <li>○わかば(野幌地区)</li> <li>・開館日数:246日/年</li> <li>・利用者数:4,014人</li> <li>○もりのこ(大麻地区)</li> <li>・開館日数:241日/年</li> <li>・利用者数:4,760人</li> <li>○ぐんぐん(大麻地区)</li> <li>・開館日数:140日/年</li> <li>・利用者数:1,510人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○どんぐり(江別地区)</li> <li>・開館日数:156日/年</li> <li>・利用者数:2,334人</li> <li>○ゆうあい(野幌地区)</li> <li>・開館日数:142日/年</li> <li>・利用者数:2,461人</li> <li>○わかば(野幌地区)</li> <li>・開館日数:242日/年</li> <li>・利用者数:3,300人</li> <li>○もりのこ(大麻地区)</li> <li>・開館日数:231日/年</li> <li>・利用者数:4,274人</li> <li>○ぐんぐん(大麻地区)</li> <li>・開館日数:155日/年</li> <li>・利用者数:1,284人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○どんぐり(江別地区)</li> <li>・開館日数:144日/年</li> <li>・利用者数:2,701名</li> <li>○ゆうあい(野幌地区)</li> <li>・開館日数:239日/年</li> <li>・利用者数:2,728名</li> <li>○わかば(野幌地区)</li> <li>・開館日数:242日/年</li> <li>・利用者数:4,149名</li> <li>○もりのこ(大麻地区)</li> <li>・開館日数:230日/年</li> <li>・利用者数:3,585名</li> <li>○ぐんぐん(大麻地区)</li> <li>・開館日数:167日/年</li> <li>・利用者数:1,086名</li> </ul>	
					決算額(円)	3,710,000	決算額(円)	37,265,000	決算額(円)	13,405,000	決算額(円)	22,100,380
21	○	あそびのひろば事業	健康福祉部 子育て支援 室子ども育 成課 (子育て支 援センター 事業推進担 当)	育児の孤立や虐待への移行を防ぐことを目的として、子育てサポーターや民生委員児童委員・主任児童委員とともに、子育て中の保護者が居住地域において気軽に集い、情報交換や相談ができる場や機会を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域あそびのひろば」の開設</li> <li>・実施回:月1~2回</li> <li>・実施個所:13か所 (直営8か所、民間の支援センター運営5か所)</li> <li>・利用者数:2,507人/年</li> <li>・子育てサポーター登録者数:25人</li> <li>○民生委員児童委員、民間団体が開設するあそびのひろばの広報活動(チラシ配布と毎月広報えべつにて開催案内を掲載)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域あそびのひろば」の開設</li> <li>・実施回:月1~2回</li> <li>・実施個所:13か所 (直営8か所、民間の支援センター運営5か所)</li> <li>・利用者数:2,504人/年</li> <li>・子育てサポーター登録者数:25人</li> <li>○民生委員児童委員、民間団体が開設するあそびのひろばの広報活動(チラシ配布と毎月広報えべつにて開催案内を掲載)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域あそびのひろば」の開設</li> <li>・実施回:月1~2回</li> <li>・実施個所:13か所 (直営8か所、民間の支援センター運営5か所)</li> <li>・利用者数:2,657人/年</li> <li>・子育てサポーター登録者数:24人</li> <li>○民生委員児童委員、民間団体が開設するあそびのひろばの広報活動(チラシ配布と毎月広報えべつにて開催案内を掲載)</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○「地域あそびのひろば」の開設</li> <li>・実施回:月1~2回</li> <li>・実施個所:13か所 (直営8か所、民間の支援センター運営5か所)</li> <li>・利用者数:2,657名/年</li> <li>・子育てサポーター登録者数:24名</li> <li>○民生委員児童委員、民間団体が開設するあそびのひろばの広報活動(チラシ配布と毎月広報えべつにて開催案内を掲載)</li> </ul>	
					決算額(円)	2,687,000	決算額(円)	2,786,026	決算額(円)	2,825,000	決算額(円)	2,900,975

施策関連事業実施状況(平成26年度～平成29年度)

【基本方針5】あらゆる暴力根絶の取組

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)	
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)	
1		労働安全衛生費 (セクハラ相談員設置)	総務部職員課	職員課のセクハラ相談員(職員課職員・職域保健師)による、セクハラ等に対する相談体制を継続する。	職域保健師等を配置し、相談があった場合に対応できる体制を継続する。 ・職員課職員 3名 ・職域保健師 1名 ・第1種非常勤保健師 1名 ・精神科指定医 1名		○職域保健師等を配置し、相談があった場合に対応できる体制を継続する。 ・職員課職員 3名 ・職域保健師 1名 ・第1種非常勤保健師 1名 ・精神科指定医 1名		○職域保健師等を配置し、相談があった場合に対応できる体制を継続する。 ・職員課職員 3名 ・職域保健師 1名 ・第1種非常勤保健師 1名		○職域保健師等を配置し、相談があった場合に対応できる体制を継続する。 ・職員課職員 3名 ・職域保健師 1名 ・第1種非常勤保健師 1名	
					決算額(円)	2,572,150	決算額(円)	2,510,550	決算額(円)	—	決算額(円)	—
2		労働安全衛生費 (セクハラ対策)	総務部職員課	関連する研修及びセクハラ防止等を周知することにより、職員の意識啓発を図り、働きやすい環境づくりを推進する。	新規採用職員研修において男女共同参画に係る内容の研修を実施した。		○新規採用職員研修において男女共同参画に係る内容の研修を実施		○庁内電子掲示板においてハラスメント防止及び排除等を周知		○新規採用職員研修において男女共同参画に係る内容の研修を実施	
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—
3		暴力根絶啓発事務	生活環境部 市民生活課	広報誌・ホームページへの掲載や国等からの啓発資材の利用等により、あらゆる暴力に関する社会的認識の徹底、人間の尊厳を尊重する意識の啓発を図る。	○広報誌(6、11月号)への掲載 DV、セクハラ相談窓口、女性に対する暴力をなくす運動について周知した。 ○ホームページへの掲載 ○啓発資材の配備 国および関係機関からのパンフレットを公共施設等に配備した。		○広報誌への掲載 DV、セクハラ相談窓口、女性に対する暴力をなくす運動について周知した。(6、11月号) ○暮らしの便利帳への掲載 DV、セクハラ相談窓口を掲載した。 ○ホームページへの掲載 ○啓発資材の配備 国および関係機関からのパンフレットを公共施設等に配備した。		○広報誌への掲載 DV、セクハラ相談窓口、女性に対する暴力をなくす運動について周知した。(6、11月号) ○暮らしの便利帳への掲載 DV、セクハラ相談窓口を掲載した。 ○ホームページへの掲載 ○啓発資材の配備 国および関係機関からのパンフレットを公共施設等に配備した。		○広報誌への掲載 DV、セクハラ相談窓口、女性に対する暴力をなくす運動について周知した。(6、11月号) ○暮らしの便利帳への掲載 DV、セクハラ相談窓口を掲載した。 ○ホームページへの掲載 ○啓発資材の配備 国および関係機関からのパンフレットを公共施設等に配備した。	
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—
4		若年者DV防止啓発事業	生活環境部 市民生活課	「デートDV」に関するリーフレットを作成し、デートDVの防止及び早期解決に向けた情報提供を行うとともに、お互いを尊重し合うことの大切さなどを啓発する。	若年者向け啓発として「デートDV」に関するリーフレットを作成し配布を行った。また、北翔大学短期大学部の学生を対象に「デートDV出前講座」を開催した(実施日:10/20、講師:人権擁護委員)。 ○配布実績 ・「デートDV出前講座」受講者 配布部数:118部 ・「成人のつどい」来場新成人 配布部数:1,200部 ・市内大学の新生入学生 配布部数:3,000部		○若年者向け啓発として「デートDV」に関するリーフレットを作成し配布を行った。また、北翔大学短期大学部の学生を対象に「デートDV出前講座」を開催した(人権擁護委員を講師として9/24実施)。 ・「デートDV出前講座」受講者 配布部数:140部 ・「成人のつどい」来場新成人 配布部数:1,500部 ・市内大学の新生入学生 配布部数:3,000部		○若年者向け啓発として「デートDV」に関するリーフレットを作成し配布を行った。また、人権擁護委員を講師とした「デートDV出前講座」を、江別高校定時制(7/1)、北翔大学短期大学部(9/20)にて開催した。 ・「デートDV出前講座」受講者 部数:164部 ・「成人のつどい」来場新成人 部数:1,200部 ・市内大学の新生入学生 部数:2,850部		○若年者向け啓発として「デートDV」に関するリーフレットを作成し配布を行った。また、人権擁護委員を講師とした「デートDV出前講座」を、札幌学院大学法学部履修科目「ジェンダーと法」(12/18)にて開催した。 ・「デートDV出前講座」受講者 部数:17部 ・「成人のつどい」に会場した新成人へ 部数:1,300部 ・市内大学の新生入学生へ 部数:3,050部	
					決算額(円)	90,720	決算額(円)	70,308	決算額(円)	75,060	決算額(円)	82,080

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)					
5		市民相談事業	生活環境部 市民生活課	市民からの相談に対し、相談員が必要な情報提供と関係機関との連携を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民相談</li> <li>・相談員:市職員2名</li> <li>・時間:8:45~17:15</li> <li>・場所:市民相談所</li> <li>○法律相談</li> <li>・相談員:弁護士1名</li> <li>・日程:毎月第2・4木曜 13:00~15:00</li> <li>・場所:市民会館</li> <li>○家庭生活相談</li> <li>・相談員:家庭生活相談員(8人交代制)</li> <li>・日程:毎週月・木曜 10:00~15:00</li> <li>・場所:総合社会福祉センター/月曜 大麻出張所/木曜</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民相談</li> <li>・相談員:市職員2名</li> <li>・日程:月~金(祝日を除く) 8:45~17:15</li> <li>・場所:市民相談所(市役所1階)</li> <li>○法律相談</li> <li>・月初めに電話で申込。各相談先着5名。</li> <li>・相談員:弁護士1名</li> <li>・日程:毎月第2・第4木曜 (祝日の場合別日) 13:00~15:00</li> <li>・場所:市民会館</li> <li>○家庭生活相談</li> <li>・相談員:家庭生活相談員8名(交代制)</li> <li>・日程:毎週月・木曜(祝日を除く) 10:00~15:00</li> <li>・場所:総合社会福祉センター/月曜 大麻出張所/木曜</li> <li>○1日合同行政相談所(10/1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民相談</li> <li>・相談員:市職員2名</li> <li>・日程:月~金(祝日を除く) 8:45~17:15</li> <li>・場所:市民相談所(市役所1階)</li> <li>○法律相談</li> <li>・月初めに電話で申込。各相談先着5名。</li> <li>・相談員:弁護士1名</li> <li>・日程:毎月第2・第4木曜 (祝日の場合別日) 13:00~15:00</li> <li>・場所:市民会館</li> <li>○家庭生活相談</li> <li>・相談員:家庭生活相談員8名(交代制)</li> <li>・日程:毎週月・木曜(祝日を除く) 10:00~15:00</li> <li>・場所:総合社会福祉センター/月曜 大麻出張所/木曜</li> <li>○1日合同行政相談所(10/1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○市民相談</li> <li>・相談員:市職員2名</li> <li>・日程:月~金(祝日を除く) 8:45~17:15</li> <li>・場所:市民相談所(市役所1階)</li> <li>○法律相談</li> <li>・月初めに電話で申込。各相談先着5名。</li> <li>・相談員:弁護士1名</li> <li>・日程:毎月第2・第4木曜 (祝日の場合別日) 13:05~15:10</li> <li>・場所:市民会館</li> <li>○家庭生活相談</li> <li>・相談員:家庭生活相談員8名(交代制)</li> <li>・日程:毎週月・木曜(祝日を除く) 10:00~15:00</li> <li>・場所:総合社会福祉センター/月曜 大麻出張所/木曜</li> <li>○1日合同行政相談所(10/3)</li> </ul>	決算額(円)	806,240	決算額(円)	807,520	決算額(円)	796,960	決算額(円)	807,000
					決算額(円)	806,240	決算額(円)	807,520	決算額(円)	796,960	決算額(円)	807,000				
6		札幌人権擁護委員協議会負担金	生活環境部 市民生活課	市民を対象にした、人権に関する啓蒙・啓発活動を援助する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>人権相談開催の周知及びポスター、パンフレット等を公共施設の窓口等へ掲示、配備。</li> <li>・えべつやきもの市、江別ふれあい福祉の広場、地域の夏祭りなどにおける人権周知活動。</li> <li>・小学校8校、中学校1校で人権教室開催。他に、大人のための人権教室1回開催。</li> <li>・中学生の人権作文の趣旨説明、応募依頼。SOSミニレターへの協力依頼。</li> <li>・特設1日人権相談所の開設(6/1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権相談開催の周知及びポスター、パンフレット等を公共施設の窓口等へ掲示、配備。</li> <li>・えべつやきもの市、江別ふれあい福祉の広場、地域の夏祭りなどにおける人権周知活動。</li> <li>・幼稚園、小学校、中学校、高校、大学にて人権教室開催。</li> <li>・中学生の人権作文の趣旨説明、応募依頼。SOSミニレターへの協力依頼。</li> <li>・特設1日人権相談所の開設(6/1)</li> <li>・人権の花運動の実施</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権相談開催の周知及びポスター、パンフレット等を公共施設の窓口等へ掲示、配備。</li> <li>・えべつやきもの市、江別ふれあい福祉の広場などにおける人権周知活動。</li> <li>・幼稚園、小学校、中学校、高校、大学にて人権教室開催。</li> <li>・中学生の人権作文の趣旨説明、応募依頼。SOSミニレターへの協力依頼。</li> <li>・特設1日人権相談所の開設(6/1)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権相談開催の周知及びポスター、パンフレット等を公共施設の窓口等へ掲示、配備。</li> <li>・えべつやきもの市、江別ふれあい福祉の広場などにおける人権周知活動。</li> <li>・幼稚園、小学校、中学校、高校、大学にて人権教室開催。</li> <li>・中学生の人権作文の趣旨説明、応募依頼。SOSミニレターへの協力依頼。</li> <li>・特設1日人権相談所の開設(6/1)</li> </ul>	決算額(円)	77,000	決算額(円)	77,000	決算額(円)	77,000	決算額(円)	77,000
					決算額(円)	77,000	決算額(円)	77,000	決算額(円)	77,000	決算額(円)	77,000				
7		住民記録事務	生活環境部 市民課	あらかじめ支援措置申出のあるDV・ストーカー被害者の住民票等住民記録に関する証明発行等を制限し、居所の探索を目的とする加害者からの住民記録等に関する請求に応じないことにより、被害者保護を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>DV・ストーカー被害者の住民票等の発行制限を行った。</li> <li>・申出数17件 (女性17人 同伴家族25人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DV・ストーカー被害者の住民票等の発行制限を行った。</li> <li>・申出数19件 (女性18件、男性1件 同伴家族27人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DV・ストーカー被害者の住民票等の発行制限を行った。</li> <li>・申出数24件 (女性24件、男性0件 同伴家族44人)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>DV・ストーカー被害者の住民票等の発行制限を行った。</li> <li>・申出数27件 (女性27件、男性0件 同伴家族44人)</li> </ul>	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—				
8		家庭児童相談事業	健康福祉部 子育て支援課	家庭児童相談員により電話及び面接相談を行い、児童及び家庭内における問題の状況を聞き、対応や解決方法などを指導・助言し、事例によっては関係機関との連携により児童及び家庭等の問題に対応する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭児童相談員により電話及び面接相談を実施。事例によっては、関係機関と連携し、児童及び家庭等の問題に対応した。</li> <li>○相談実件数:297件</li> <li>○家庭相談員兼母子・父子自立支援員:4名</li> <li>※DV相談件数23件/年 (うち、一時保護送致件数 5件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭児童相談員により電話及び面接相談を実施。事例によっては、関係機関と連携し、児童及び家庭等の問題に対応。</li> <li>○相談実件数:340件</li> <li>○家庭相談員兼母子・父子自立支援員:4名</li> <li>※DV相談件数19件/年 (うち、一時保護送致件数 1件)</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭児童相談員により電話及び面接相談を実施。事例によっては、関係機関と連携し、児童及び家庭等の問題に対応。</li> <li>○相談実件数:375件</li> <li>○家庭相談員兼母子・父子自立支援員:4名</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>家庭児童相談員により電話及び面接相談を実施。事例によっては、関係機関と連携し、児童及び家庭等の問題に対応。</li> <li>○相談実件数:344件</li> <li>○家庭相談員兼母子・父子自立支援員:4名</li> </ul>	決算額(円)	3,631,344	決算額(円)	3,719,000	決算額(円)	3,759,000	決算額(円)	1,831,200
					決算額(円)	3,631,344	決算額(円)	3,719,000	決算額(円)	3,759,000	決算額(円)	1,831,200				

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)					
9		母子寡婦福祉相談事業	健康福祉部子育て支援課	離婚等により母子・寡婦(配偶者と死別)となった世帯に対し、母子・父子自立支援員により電話や面接による身上相談に応じ、自立に必要な助言や指導を行う。	母子・父子自立支援員により電話や面接による身上相談に応じ、自立に必要な助言や指導を実施した。 ○相談実件数:745件 ○家庭相談員兼母子・父子自立支援員:4人 ※DV相談件数は家庭児童相談事業に同じ	母子・父子自立支援員により電話や面接による身上相談に応じ、自立に必要な助言や指導を実施。 ○相談実件数:698件 ○家庭相談員兼母子・父子自立支援員:4名 ※DV相談件数は家庭児童相談事業に同じ	母子・父子自立支援員により電話や面接による身上相談に応じ、自立に必要な助言や指導を実施。 ○相談実件数:606件 ○家庭相談員兼母子・父子自立支援員:4名 ※DV相談件数27件/年 (うち、一時保護送致件数4件)	母子・父子自立支援員により電話や面接による身上相談に応じ、自立に必要な助言や指導を実施。 ○相談実件数:430件 ○家庭相談員兼母子・父子自立支援員:4名 ※DV相談件数13件/年 (うち、一時保護送致件数1件)	決算額(円)	1,891,081	決算額(円)	1,942,000	決算額(円)	1,920,000	決算額(円)	1,955,738
					決算額(円)	1,891,081	決算額(円)	1,942,000	決算額(円)	1,920,000	決算額(円)	1,955,738				
10		江別市家庭児童対策地域協議会事業	健康福祉部子育て支援課	関係機関・団体がネットワークを組み、共通の認識を持ちながら連携して江別市児童虐待及びDV防止連絡協議会を設置し、虐待等の情報を収集し、発生予防、早期解決、早期対応を行う。	会議及び研修会を学校、幼稚園、保育園他関係機関職員を対象として実施した。 実施日:11/19 参加人数:会議15人 参加人数:研修会130人	会議及び研修会を学校、幼稚園、保育園他関係機関職員を対象として実施。 ○会議 平成27年11月6日実施 20人参加 ○研修会 平成27年10月9日実施 42人参加	会議及び研修会を学校、幼稚園、保育園他関係機関職員を対象として実施。 ○会議 平成28年7月21日実施 16人参加 ○研修会 平成28年11月11日実施 64人参加	会議及び研修会を学校、幼稚園、保育園他関係機関職員を対象として実施。 ○会議 平成29年9月20日実施 16名 ○研修会 平成29年11月22日実施 70名	決算額(円)	1,852,530	決算額(円)	1,908,000	決算額(円)	1,881,000	決算額(円)	6,953,125
					決算額(円)	1,852,530	決算額(円)	1,908,000	決算額(円)	1,881,000	決算額(円)	6,953,125				
11		児童生徒健全育成事業(電話相談事業)	教育部生涯学習課	少子化、核家族化、夫婦共働、地域の間関係の希薄化等により、子どもや子育て中の親の不安や悩みが多様化するとともに、増加してきていることから、子どもや親に電話の匿名性を活かして気軽に相談が受けられる機会を提供する。	○子育てテレホン相談 実施日:月曜～金曜(10:00～12:00) 内容:しつけ、思春期、親子関係の悩みの相談など 相談件数:14件 ○ヤングテレホン相談 実施日:月曜～金曜(13:00～17:00) 内容:青少年の悩み相談 相談件数:315件 ○相談員数:9人(女性:9人)	○子育てテレホン相談 実施日:月曜～金曜(10時～12時) 内容:しつけ、思春期、親子関係の悩みの相談など 相談件数:6件 ○ヤングテレホン相談 実施日:月曜～金曜(13時～17時) 内容:青少年の悩み相談 相談件数:120件 ○相談員数:9名(女性:9名)	○子育てテレホン相談 実施日:月曜～金曜(10時～12時) 内容:しつけ、思春期、親子関係の悩みの相談など 相談件数:7件 ○ヤングテレホン相談 実施日:月曜～金曜(13時～17時) 内容:青少年の悩み相談 相談件数:140件 ○相談員数:10人(女性:10人)		決算額(円)	908,400	決算額(円)	895,280	決算額(円)	883,680	決算額(円)	
					決算額(円)	908,400	決算額(円)	895,280	決算額(円)	883,680	決算額(円)					
12		児童生徒健全育成(いじめ・不登校対策事業)	教育部学校教育支援室教育支援課	いじめ・不登校に悩む児童生徒の支援を行う。	○いじめ・不登校相談電話の設置 ・専任指導員:2人 ○臨床心理士による教育相談を実施 ・原則週に1回 ○相談件数:42件/年 ・いじめ相談:8件 ・不登校相談:34件	○専任指導員によるいじめ・不登校等の相談(来庁、電話相談)を実施 ○臨床心理士による教育相談を実施 ・原則週に1回 ○相談件数:40件/年 ・いじめ相談:9件 ・不登校相談:31件	○専任指導員によるいじめ・不登校等の相談(来庁、電話相談)を実施 ○臨床心理士による教育相談を実施 ・原則週に1回 ○相談件数:37件/年 ・いじめ相談:8件 ・不登校相談:29件	心の教室相談員を市内全小学校に配置し、児童等が抱える悩みの相談を行った。 ○配置学校数:18校 ○延べ相談件数:18,330件/年	決算額(円)	2,103,200	決算額(円)	3,646,000	決算額(円)	5,881,322	決算額(円)	5,920,993
					決算額(円)	2,103,200	決算額(円)	3,646,000	決算額(円)	5,881,322	決算額(円)	5,920,993				
13		「心の教室」相談事業	教育部学校教育支援室教育支援課	「心の教室」相談員を学校に配置し、児童等の相談業務を行う。	心の教室相談員を市内全小学校に配置し、児童等が抱える悩みの相談を行った。 ○配置学校数:19校 ○相談件数: 相談件数:15,032件/年(延べ)	心の教室相談員を市内全小学校に配置し、児童等が抱える悩みの相談を行った。 ○配置学校数:19校 ○延べ相談件数:15,246件/年	心の教室相談員を市内全小学校に配置し、児童等が抱える悩みの相談を行った。 ○配置学校数:18校 ○延べ相談件数:15,120件/年	心の教室相談員を市内全小学校に配置し、児童等が抱える悩みの相談を行った。 ○配置学校数:18校 ○延べ相談件数:18,330件/年	決算額(円)	5,504,000	決算額(円)	5,558,000	決算額(円)	5,380,713	決算額(円)	5,481,214
					決算額(円)	5,504,000	決算額(円)	5,558,000	決算額(円)	5,380,713	決算額(円)	5,481,214				
14		スクールカウンセラー事業	教育部学校教育支援室教育支援課	臨床心理士等をスクールカウンセラーとして学校に配置し、生徒等の相談業務を行う。	臨床心理士等をスクールカウンセラーとして配置し、生徒等が抱える悩みの相談を行った。 ○配置学校数:9校 (中学校8校、小学校1校) ○延べ相談件数:1,248件/年 ※報酬は道費負担(市は事務費のみ)	臨床心理士等をスクールカウンセラーとして配置し、生徒等が抱える悩みの相談を行った。 ○配置学校数:9校 (中学校8校、小学校1校) ○延べ相談件数:1,092件/年 ※報酬は道費負担(市は事務費のみ)	臨床心理士等をスクールカウンセラーとして配置し、生徒等が抱える悩みの相談を行った。 ○配置学校数:9校 (中学校8校、小学校1校) ○延べ相談件数:1,176件/年 ※報酬は道費負担(市は事務費のみ)	臨床心理士等をスクールカウンセラーとして配置し、生徒等が抱える悩みの相談を行った。 ○配置学校数:9校 (中学校8校、小学校1校) ○延べ相談件数:1,454件/年 ※報酬は道費負担(市は事務費のみ)	決算額(円)	80,008	決算額(円)	81,000	決算額(円)	81,000	決算額(円)	4,995
					決算額(円)	80,008	決算額(円)	81,000	決算額(円)	81,000	決算額(円)	4,995				

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)	
15		スクールソーシャルワーカー事業	教育部学校 教育支援室 教育支援課	いじめ・不登校・非行など問題を抱える児童生徒、その保護者及び学校への支援を行う。	スクールソーシャルワーカー2人を教育委員会に配置し、児童生徒、保護者及び学校への相談支援を行った。	スクールソーシャルワーカー2名を教育委員会に配置し、児童生徒、保護者及び学校への相談支援を行った。						
					○ケース取扱い件数:80件	○ケース取扱い件数:103件	○ケース取扱い件数:104件	○ケース取扱い件数:99件	決算額(円)	4,392,000	決算額(円)	4,455,000

施策関連事業実施状況(平成26年度～平成29年度)

【基本方針6】生涯にわたる男女の健康支援

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)					
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)					
1		健康づくり推進事業	健康福祉部保健センター	市民自らの健康意識の高揚と健康づくり活動の推進を図るため、各種講演会やチェアエクササイズ(はつらつ教室)やこころの健康づくり事業等を開催する。また健康づくり推進員の活動の支援を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○チェアエクササイズ(はつらつ教室)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:82回</li> <li>・参加者数:2,269人(延べ)</li> </ul> </li> <li>○地域健康づくり推進員事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:47回</li> <li>・参加者数:1,291人(延べ)</li> </ul> </li> <li>○こころの健康づくり講演会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加者数:87人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康づくり講演会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数:104人</li> </ul> </li> <li>○E-リズム講習                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数23回</li> <li>・参加人数:1,000人</li> </ul> </li> <li>○チェアエクササイズ(はつらつ教室)                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:36回</li> <li>・参加人数:1,045人(延べ)</li> </ul> </li> <li>○地域健康づくり推進員事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:46回</li> <li>・参加人数:1,216人(延べ)</li> </ul> </li> <li>○こころの健康づくり講演会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・参加人数:123人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣病予防講演会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回 参加人数:50人</li> </ul> </li> <li>○こころの健康づくり講演会、ゲートキーパー研修                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・3回 参加人数:85人</li> </ul> </li> <li>○地域健康づくり推進員事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・62回 参加人数:1,410人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○生活習慣病予防講演会                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・1回 参加人数:50人</li> </ul> </li> <li>○こころの健康づくり講演会、ゲートキーパー研修                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・2回 参加人数:189人</li> </ul> </li> <li>○地域健康づくり推進員事業                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・49回 参加人数:1,190人</li> </ul> </li> </ul>	決算額(円)	4,862,574	決算額(円)	4,145,861	決算額(円)	3,894,773	決算額(円)	3,328,924
2		成人健康教育経費 H28～健康教育経費	健康福祉部保健センター	生活習慣病の予防等、健康保持及び増進を図るため、市民を対象に健康教室や自治会等の地域の要望に応じたテーマでの講話を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康教育                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:130回</li> <li>・参加者数:4,654人(延べ)</li> </ul> </li> <li>○ピンクリボンフェアの開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>10月のピンクリボン月間に合わせ、乳がん検診受診率の向上と検診の重要性について普及促進を図るため、一般社団法人江別医師会との共催により開催した。</li> <li>・参加人数:200人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康教育                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:135回</li> <li>・参加延人数:5,231人</li> </ul> </li> <li>○がん予防道民大会の開催                             <ul style="list-style-type: none"> <li>がん検診受診率の向上と検診の重要性について普及促進を図るため、北海道対がん協会、北海道等との共催により開催した。</li> <li>・参加人数:850人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康教育                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:185回</li> <li>・参加延人数:7,366人</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康教育                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:157回</li> <li>・参加延人数:5,036人</li> </ul> </li> </ul>	決算額(円)	750,740	決算額(円)	657,736	決算額(円)	573,212	決算額(円)	727,912
3		成人検診推進事業 (結核予防・がん検診経費)	健康福祉部保健センター	がん疾患の早期発見・早期治療を図るため、職場等での検診を受ける機会のない40歳以上(子宮頸がん20歳以上)の市民を対象に、胃・肺・大腸・子宮・乳がん検診を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○胃がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:3,821人</li> </ul> </li> <li>○肺がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:5,063人</li> </ul> </li> <li>○大腸がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:6,678人</li> </ul> </li> <li>○子宮頸がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:3,873人</li> </ul> </li> <li>○乳がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:3,336人</li> </ul> </li> </ul> <p>※子宮頸がん・乳がん・大腸がん検診受診人数には、女性特有がん・大腸がんクーポン検診事業受診人数を含む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○胃がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:3,811人</li> </ul> </li> <li>○肺がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:5,046人</li> </ul> </li> <li>○大腸がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:6,850人</li> </ul> </li> <li>○子宮がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:3,304人</li> </ul> </li> <li>○乳がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:2,940人</li> </ul> </li> </ul> <p>※子宮がん・乳がん・大腸がん検診受診人数には、女性特有がん・大腸がんクーポン検診事業受診人数を含む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○胃がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:3,688人</li> </ul> </li> <li>○肺がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:5,098人</li> </ul> </li> <li>○大腸がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:5,879人</li> </ul> </li> <li>○子宮がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:3,045人</li> </ul> </li> <li>○乳がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:2,649人</li> </ul> </li> </ul> <p>※子宮がん・乳がん・大腸がん検診受診人数には、女性特有がん・大腸がんクーポン検診事業受診人数を含む。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○胃がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:3,438人</li> </ul> </li> <li>○肺がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:4,906人</li> </ul> </li> <li>○大腸がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:5,637人</li> </ul> </li> <li>○子宮がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:3,269人</li> </ul> </li> <li>○乳がん検診                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・受診人数:2,370人</li> </ul> </li> </ul> <p>※子宮がん・乳がん・大腸がん検診受診人数には、女性特有がん・大腸がんクーポン検診事業受診人数を含む。</p>	決算額(円)	67,159,489	決算額(円)	67,938,927	決算額(円)	68,498,392	決算額(円)	69,299,258
4		個別健康相談事業 H28～健康相談経費	健康福祉部保健センター	健康管理を推進するため、市民を対象に健康や食事等に関する指導及び助言を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康相談                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:301回</li> <li>・相談人数:864人(延べ)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康相談                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:596回</li> <li>・相談人数:2,570人(延べ)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康相談                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:617回</li> <li>・相談人数:1,679人(延)</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○健康相談                             <ul style="list-style-type: none"> <li>・実施回数:562回</li> <li>・相談人数:2,110人(延)</li> </ul> </li> </ul>	決算額(円)	2,001,988	決算額(円)	2,001,965	決算額(円)	1,998,032	決算額(円)	2,148,053

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)	
5		母子健康教育事業	健康福祉部 保健センター	妊娠、出産及び育児に関する知識の普及と不安の軽減を図るため、妊婦とその夫や乳幼児及びその保護者を対象に、マタニティスクール、両親学級、離乳食教室を開催し、講話と母親交流を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○マタニティスクール</li> <li>・実施回数:1コース3回で年4回実施</li> <li>・参加者数:214人(実96人)(延べ)</li> <li>○両親学級</li> <li>・実施回数:4回</li> <li>・参加者数:165人(83組)</li> <li>○離乳食教室</li> <li>①初めてコース</li> <li>・実施回数:12回</li> <li>・参加者数:194人</li> <li>②ステップアップコース</li> <li>・実施回数:12回</li> <li>・参加者数:156人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○マタニティスクール</li> <li>・実施回数:1コース2回で年4回開催</li> <li>・参加者数:120人(延べ)(実71人)</li> <li>○両親学級</li> <li>・実施回数:4回</li> <li>・参加者数:210人(105組)</li> <li>○離乳食教室</li> <li>①初めてコース</li> <li>・実施回数:12回</li> <li>・参加者数:157人</li> <li>②ステップアップコース</li> <li>・実施回数:12回</li> <li>・参加者数:142人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○マタニティスクール</li> <li>・実施回数:1コース2回で年4回開催</li> <li>・参加者数:延べ129人(実73人)</li> <li>○両親学級</li> <li>・実施回数:4回</li> <li>・参加者数:189人(95組)</li> <li>○離乳食教室</li> <li>①初めてコース</li> <li>・実施回数:12回</li> <li>・参加者数:187人</li> <li>②ステップアップコース</li> <li>・実施回数:12回</li> <li>・参加者数:160人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○マタニティスクール</li> <li>・実施回数:1コース2回で年4回開催</li> <li>・参加者数:延92人(実53人)</li> <li>○両親学級</li> <li>・実施回数:4回</li> <li>・参加者数:153人(77組)</li> <li>○離乳食教室</li> <li>①初めてコース</li> <li>・実施回数:12回</li> <li>・参加者数:176人</li> <li>②ステップアップコース</li> <li>・実施回数:12回</li> <li>・参加者数:169人</li> <li>○いのちを育むイベント事業</li> <li>・実施回数:1回</li> <li>・参加者数:215人</li> </ul>	
					決算額(円)	385,624	決算額(円)	402,434	決算額(円)	516,732	決算額(円)	646,203
6		母子保健相談経費	健康福祉部 保健センター	育児不安の軽減を図るため妊産婦、乳幼児及びその保護者を対象に、親子健康相談、10か月児健診事後相談及び健診事後教室を開催して相談・指導を行う。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○親子健康相談</li> <li>・実施回数:12回</li> <li>・参加者数:709人</li> <li>○10か月児健康診査事後相談</li> <li>・相談者数:123人</li> <li>○健診事後教室</li> <li>①1歳6か月児健診事後指導教室</li> <li>・実施回数:46回</li> <li>・参加組数:403組</li> <li>②3歳児健診事後指導教室</li> <li>・実施回数:8回</li> <li>・参加組数:49組</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○親子健康相談</li> <li>・実施回数:12回</li> <li>・利用者数:592人</li> <li>○10か月健康診査事後相談</li> <li>・相談者数:136人</li> <li>○健診事後教室</li> <li>1歳6か月児健診事後指導教室</li> <li>・実施回数:46回</li> <li>・参加組数:397組</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○親子健康相談</li> <li>・実施回数:12回</li> <li>・利用者数:807人</li> <li>○10か月健康診査事後相談</li> <li>・相談者数:67人</li> <li>○健診事後教室</li> <li>・実施回数:46回</li> <li>・参加組数:431組</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○親子健康相談</li> <li>・実施回数:12回</li> <li>・利用者数:862人</li> <li>○10か月健康診査事後相談</li> <li>・相談者数:123人</li> <li>○健診事後教室</li> <li>・実施回数:46回</li> <li>・参加組数:362組</li> </ul>	
					決算額(円)	2,989,053	決算額(円)	2,975,492	決算額(円)	3,032,478	決算額(円)	3,129,605
7		妊婦健康診査経費	健康福祉部 保健センター	母体の保護と健全な児の出生及び成長を図るため、妊娠届出を行なった市民を対象に、妊婦一般健康診査及び超音波検査を実施する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊婦一般健康診査</li> <li>・受診者数:687人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊婦一般健康診査</li> <li>・受診者数:676人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊婦一般健康診査</li> <li>・受診者数:676人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○妊婦一般健康診査</li> <li>・受診者数:632人</li> </ul>	
					決算額(円)	51,369,363	決算額(円)	50,023,593	決算額(円)	50,074,570	決算額(円)	49,381,030
8		成人検診推進事業(女性特有がん・大腸がんクーポン検診経費)	健康福祉部 保健センター	がん検診受診率の向上及び疾病の早期発見・早期治療による重症化の予防と医療費の適正化を図るため、20歳・40歳の女性市民、20歳から60歳までの女性特有のがん検診を未受診の女性市民及び40歳・45歳・50歳・55歳・60歳の市民に対し、子宮頸がん、乳がん及び大腸がん検診無料クーポン券を送付する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子宮頸がん検診無料クーポン券</li> <li>配布数 8,035人／受診数1,168人</li> <li>○乳がん検診無料クーポン券</li> <li>配布数10,574人／受診数1,528人</li> <li>○大腸がん検診無料クーポン券</li> <li>配布数 8,767人／受診数1,287人</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○子宮頸がん検診無料クーポン券</li> <li>配布数4,015人／受診数 560人</li> <li>○乳がん検診無料クーポン券</li> <li>配布数5,484人／受診数 838人</li> <li>○大腸がん検診無料クーポン券</li> <li>配布数8,486人／受診数1,313人</li> </ul>					
					決算額(円)	32,443,061	決算額(円)	22,314,332	決算額(円)		決算額(円)	

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)	
9		成人検診推進事業(がん検診受診促進経費)	健康福祉部保健センター	がんの早期発見・早期治療による重症化の予防のため、国の要綱に基づき、乳がん・子宮頸がん検診無料クーポン券を送付する。また、20歳を迎える女性と子宮頸がんクーポン未利用者のうち、希望者に対して自己採取HPV検査を無料で実施する					○子宮頸がん検診無料クーポン券 配布数2,168人／受診数257人 ○乳がん検診無料クーポン券 配布数2,933人／受診数500人 ○翌年2月末日を期限とする無料クーポン券を5月末に配布し、10月末日までの未受診者には12月に個別再勧奨を実施。  ○自己採取HPV検査 対象者数2,673人／受診数173人 ○20歳を迎える方には誕生月の翌月に案内送付、9月末までの子宮クーポン未利用者には11月頃に案内を一斉送付。		○子宮頸がん検診無料クーポン券 配布数661人／受診数 39人 ○乳がん検診無料クーポン券 配布数789人／受診数 253人 ○翌年2月末日を期限とする無料クーポン券を5月末に配布し、9月末日までの乳クーポン未受診者には12月に個別再勧奨を実施。  ○自己採取HPV検査 案内発送者数2,908人／受診数207人 ○20歳を迎える方には誕生月の翌月に案内送付、9月末までの子宮クーポン未利用者には11月頃に案内を一斉送付。	
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)	13,247,914	決算額(円)	10,190,095
10		Eーリズム推進事業	健康福祉部保健センター	市民が、生活習慣病の予防や健康の保持増進のために、親しみをもって取り組める運動(リズムエクササイズ「Eーリズム」)を普及し、健康づくりに積極的に取り組み、健康寿命を延伸する。体験会や講習会の開催等を実施する。					市民向け講習 22回(933人) 出前健康教育等 43回(1,638人)		市民向け講習 13回(732人) 出前健康教育等 41回(1065人)	
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)	962,231	決算額(円)	681,122
11		いのちを育むイベント事業	健康福祉部保健センター	「江別市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、子どもを安心して産み育てられる支援体制整備の一環として本事業を実施。これから妊娠・出産・育児を経験する市民のみならず、次の世代の大切ないのちを育むことに関心をもち理解を深めることができる市民を増やすことを目的にイベントを実施する。					平成28年度は「妊娠」をテーマに実施 ○「プレママプレパパフェスinえべつ」 ・実施回数:1回、参加人数:64人 イベント内容: ①いのちをはぐくむヨガ体験 ②助産師による講話 ③お父さん応援講座 終日実施コーナー: ①妊婦・育児体験コーナー ②健康チェックコーナー ③栄養コーナー ④相談コーナー ⑤子育て情報コーナー ⑥子どもとの遊び体験コーナー			
					決算額(円)		決算額(円)		決算額(円)	93,096	決算額(円)	

【基本方針7】男女共同参画の視点に立った防災・災害復興体制

NO.	重点項目	事業名	担当課	事業の概要	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度(参考)					
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—				
1		地域防災力向上支援事業(避難所訓練)	総務部危機対策室参事(危機対策・防災担当)	災害時の避難所開設・運営を目的に「避難所運営訓練」を実施	避難所運営訓練 日時:10/4 場所:大麻東小学校 大麻第二地区自治連合会を中心に避難所運営を体験する。 参加者196人 (女性76人・男性120人)	避難所運営訓練 日時:10月24日(土) 場所:野幌鉄南地区センター 野幌鉄南・西部地区自主防災協議会を中心に避難所運営を体験 参加者123人 (女性28人・男性74人・子供21人)	避難所運営訓練 ○日時 8月28日(日)9時30分～12時00分 ○場所 大麻泉小学校 ○実施内容 東大麻自治連合会が避難所運営訓練を実施 ○参加者 132人(女性3割程度)	避難所運営訓練 ○日時 10月29日(日)8時30分～13時00分 ○場所 大麻東地区センター ○実施団体 大麻第二住区自治連合会 ○実施内容 大災害発生時の避難者受け入れ及び運営訓練を実施 ○参加者 90人(女性3割程度)	決算額(円)	—	決算額(円)	—				
					決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—	決算額(円)	—				
2		地域防災力向上支援事業(防災訓練)	総務部危機対策室参事(危機対策・防災担当)	防災意識高揚を目的に「総合防災訓練」を実施	江別市防災訓練 日時:8/10 場所:北海道消防学校 野幌北地区自主防災会と防災関係機関が参加し防災体験訓練や各種展示を通じ防災意識の啓発を図る。 参加者約400人 (女性150人・男性250人)	江別市防災訓練(台風の影響により中止) 日時:10月10日(土) 場所:江陽中学校 大規模災害が発生した際に避難所として活用される学校において、避難所の運営主体となる江別東部地域自主防災組織と江陽中学校関係者が協力し、お互いに連携を図りながら顔の見える関係を築く事を目的とする。 参加予定者約400人 (女性150人・男性250人)	江別市総合防災訓練 ○日時 10月8日(土) 9時00分～13時00分 ○場所 江陽中学校 ○実施内容 1 避難者受入訓練 2 防災体験訓練 3 防災関係機関連携訓練 ○参加者 480人(女性3割程度)	江別市総合防災訓練 ○日時 9月2日(土) 10時30分～12時30分 ○場所 江別高校跡地(向ヶ丘26番地) ○実施内容 1 防災体験 2 防災用品等の展示 3 防災関係機関連携訓練 ○参加者 約2100人(女性5割程度)	決算額(円)	1,062,788	決算額(円)	608,640	決算額(円)	1,158,770	決算額(円)	1,095,957
					決算額(円)	1,062,788	決算額(円)	608,640	決算額(円)	1,158,770	決算額(円)	1,095,957				
3		消防団運営費	消防本部総務課	会社員や自営業、主婦など、他に自らの仕事を持ちながら「自分たちのまちは自分たちで守る」という郷土愛護の精神に基づき地域の安全と安心を守る、消防団の運営を行う。	○活動内容 ・消防防災等の訓練 ・災害活動 ・防火啓発活動 ・応急手当の普及指導 ○入団資格 市内に居住又は勤務し、年齢が18歳以上40歳以下(女性は45歳以下)で心身ともに健康な方 ○消防団員数:196人 (うち女性:23人)	○活動内容 ・消防防災等の訓練 ・災害活動 ・防火啓発活動 ・応急手当の普及指導 ○入団資格 市内に居住又は勤務し、年齢が18歳以上40歳以下(女性は45歳以下)で心身ともに健康な方 ○消防団員数:199人 (うち女性:23人)	○活動内容 ・消防防災等の訓練 ・災害活動 ・防火啓発活動 ・応急手当の普及指導 ○入団資格 市内に居住又は勤務し、年齢が18歳以上40歳以下(女性は45歳以下)で心身ともに健康な方 ○消防団員数:193人 (うち女性:23人)	○活動内容 ・消防防災等の訓練 ・災害活動 ・防火啓発活動 ・応急手当の普及指導 ○入団資格 市内に居住又は勤務し、年齢が18歳以上40歳以下(女性は45歳以下)で心身ともに健康な方 ○消防団員数:194人 (うち女性:24人)	決算額(円)	25,722,591	決算額(円)	29,102,041	決算額(円)	27,474,938	決算額(円)	29,650,603
					決算額(円)	25,722,591	決算額(円)	29,102,041	決算額(円)	27,474,938	決算額(円)	29,650,603				
4		応急手当普及啓発事業	消防署救急課	応急手当普及啓発(救命講習)に 応急手当普及員として、女性消防団員の協力を得る。	救命講習において、応急手当普及員として講習の指導を行う。 ・派遣指導員・普及員数 213人 うち女性 90人 女性の割合 42.2% ・受講者数 1,961人 うち女性 938人 女性の割合 47.8%	救命講習において、応急手当普及員として講習の指導を行う。 ・派遣指導員・普及員数 237人 うち女性 110人 女性の割合 46.4% ・受講者数 2,317人 うち女性 1,167人 女性の割合 50.3%	救命講習において、応急手当普及員として講習の指導を行う。 ・派遣指導員・普及員数 229人 うち女性 99人 女性の割合 43.2% ・受講者数 1,846人 うち女性 912人 女性の割合 49.4%	救命講習において、応急手当普及員として講習の指導を行う。 ・派遣指導員・普及員数 270人 うち女性 113人 女性の割合 41.2% ・受講者数 2,157人 うち女性 1,074人 女性の割合 49.8%	決算額(円)	505,126	決算額(円)	519,457	決算額(円)	501,958	決算額(円)	480,127
					決算額(円)	505,126	決算額(円)	519,457	決算額(円)	501,958	決算額(円)	480,127				